

令和3年度 重点事業報告

令和3年度 重点事業報告

- 1 2025年を見据えた看護職の定着・確保の推進
- 2 質の高い看護の提供体制の構築・推進
- 3 地域包括ケアにおける看護提供体制の構築・推進
- 4 地域における健康危機管理体制の整備

重点事業：

- 1-1 ヘルシーワークプレイスの推進
- 1-2 中小規模病院看護管理者の育成
- 1-3 ナースセンター事業の推進
- 1-4 看護政策推進・組織強化の推進
- 1-5 看護職の魅力の発信による次世代を担う人材の確保
- 1-6 医療安全対策の推進
- 2-1 生涯教育の推進
- 2-2 看護研究学会の開催
- 2-3 看護職の専門性の理解と活動推進に向けた啓発
- 2-4 特定行為研修制度の普及・活用
- 3-1 療養する高齢者のみでなく、母子、障がいのある人々などを含む  
地域包括ケアシステムの構築・推進
- 3-2 地域連携強化と多職種連携会議への参画
- 3-3 地域包括ケアを実現するための人材確保
- 4-1 新興感染症等パンデミックへの対応、体制の整備
- 4-2 大規模災害発生時の対応体制の整備
- 4-3 災害支援・感染症対策を担う看護職の育成

## 1 2025年を見据えた看護職の定着・確保の推進

### 1-1 ヘルシーワークプレイスの推進（健康で安全な職場づくりの取り組み）

#### 実施内容

##### 1. ヘルシーワークプレイス推進事業

###### 1) ヘルシーワークプレイスの普及

- ・ヘルシーワークプレイスガイドラインの理解を目的とした講演
- ・ヘルシーワークプレイス研修会の開催等

###### 2) ヘルシーワークプレイスの啓発

- ・県内の宣言施設の増加  
※看護職の業務上の危険と健康づくりの2つの視点から予防・取り組みを実践  
⇒組織の文化・風土、支援的な環境体制づくり
- ・ヘルシーワークプレイス推進週間の設置
- ・ハラスメントに関する調査

#### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

千葉県では慢性的な看護師不足や離職率が高い状況が続いているため、看護職定着・確保推進計画の目標に「質の高い医療・看護を提供するため、看護職が働き続けられる職場づくりの推進」を掲げ、WLBの推進事業等に取組んできた。これまでの取組から、労働条件や待遇改善、子育て支援制度の整備、多様な勤務形態の導入などの効果がみられたが、看護職の離職率はあまり改善がみられていない。

日本看護協会では、2004年策定の「看護の職場における労働安全衛生ガイドライン」を2018年に改訂し「労働安全衛生ガイドライン～ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）を目指して」を公表している。当協会においてもWLBの推進からヘルシーワークプレイスの実現に向けて、ヘルシーワークプレイスガイドラインの活用を図りながら取組むこととする。推進にあたっては、ヘルシーワークプレイスの普及や啓発が課題であり、各種事業をとおして、県内施設が健康で安全な職場を目指せるよう支援する。

#### 成果

##### 1) ヘルシーワークプレイスの普及

- (1) ヘルシーワークプレイス研修会 11/4 Web開催 参加者 67名

##### 2) ヘルシーワークプレイスの啓発

- (1) 取組宣言施設の募集（通年募集） 応募施設 3施設

- (2) 「看護ちば」に掲載 137号、138号、139号、140号（4月、7月、10月、1月号）

- (3) ハラスメントに関する調査

対象：千葉県看護協会会員施設病院の会員 1,000人（男女各500人）

調査方法：郵送及びWeb

調査期間：9/16～9/30

回収状況：有効回収数346(有効回収率34.6%)

## 1 2025年を見据えた看護職の定着・確保の推進

### 1-2 中小規模病院看護管理者の育成（地域内の施設間連携の推進）

#### 実施内容

##### 1. 中小規模病院看護管理者の育成

1) 中小規模病院看護管理者研修・情報交換会（県内2地区）

2) 看護管理者研修（生涯教育）

#### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

2025年を見据え、医療は病院完結型から地域完結型へシフトチェンジし、地域連携の構築および強化が重要となっている。また、医療費抑制傾向にある診療報酬改定が続き、看護管理者の経営参画意識の向上が病院維持に不可欠になってきている。300床未満の中小規模病院が約8割を占める千葉県においては、地域医療を担う中小規模病院の看護管理者の果たす役割は大きい。しかし、中小規模病院の看護管理者は、時間や人員に余裕がなく、希望通りに看護管理者対象の研修等に参加しにくい状況であると推察される。

そこで、中小規模病院の看護管理者が、看護に関連する診療報酬の活用・看護の質向上・看護職員の定着と確保・問題解決技法等について学びやすい研修を企画し、マネジメント力の向上を図かれるようにする必要がある。

平成24年から、長期間現場を離れることが難しい看護管理者が参加しやすいように、看護管理の基礎知識を系統的に学べる5日間の研修を開催している。また、平成28年からは、地域特有の課題について情報共有ができ、成長とネットワークづくりの場としても活用できる地区別研修を開催している。

#### 成果

1) 中小規模病院看護管理者研修・情報交換会 2/2 Web開催 参加者 48名

## 1 2025年を見据えた看護職の定着・確保の推進

### 1-3 ナースセンター事業の推進

(安定的な定着・確保対策の実践、再就業支援等)

#### 実施内容

##### 1. ナースセンター事業

- 1) 看護職の定着・確保に係る実態調査
- 2) 看護職の無料職業紹介
- 3) 届出制度
- 4) 未就業看護職の就業支援
- 5) ナースセンター運営委員会
- 6) ナースセンター事業の広報
- 7) 関係機関との連携
- 8) 看護職への相談支援
- 9) 看護進路相談事業
- 10) ナースセンター維持管理

#### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

「看護師等の人材確保の促進に関する法律」に基づき、千葉県から看護協会が「千葉県ナースセンター」として指定を受け事業を実施している。

千葉県の就業看護職の現状は、平成30年の従事者届によると、人口10万対で全国46位と厳しい水準にあり、2025年には約8,800人の看護職が不足すると見込まれている。

ナースセンターを介した再就業者は年々増加しているものの、求人施設と求職者の登録促進とマッチングの強化が課題である。併せて、新型コロナウィルス感染症の発生に伴い、医療現場・保健所・療養施設・ワクチン接種等の求人が増加したことから、今後、ナースセンターの認知度を高める取組みを強化し、求人施設・求職者の活用拡大を図ることが必要である。

#### 成果

##### 1) 看護職の定着確保に係る実態調査

###### (1) 病院看護管理者

289施設に9/16～9/30の期間で実施、有効回収率57.8%

###### (2) 未就業看護職

386名に9/16～9/30の期間で実施、有効回収率34.2%

###### (3) 訪問看護ステーション管理者

452ステーションに9/27～10/12の期間で実施、有効回収率25.2%

###### (4) 新人看護職員

577会員施設及び453訪問看護ステーションの新人看護職員に10/12～10/21の期間で実施

有効回収数 663人

###### (5) 総括保健師

県1名、市町村54名に10/25～11/5の期間で実施、有効回収率76.4%

- 2) 看護職の無料職業紹介
- |              |                  |
|--------------|------------------|
| eナースセンター利用者数 | 8,367名           |
| 新規求人件数       | 2,467名           |
| 新規求職者数       | 2,533名           |
| 紹介者数         | 1,727名 (延2,140名) |
| 就職者数         | 891名             |
- 3) 届出制度
- |      |                                 |
|------|---------------------------------|
| 届出者数 | 1,176名 (代行届出数 751名 代行届出率 63.9%) |
|------|---------------------------------|
- 4) 未就業看護職の就業支援
- (1) 看護基礎技術講習会 85回実施 参加者 111名 就業者 58名
  - (2) 就業支援  
面接 139名 電話 3,053名 メール等 5,148名
  - (3) ハローワーク出張相談会 17回 相談 25名
  - (4) 求人情報誌発行 4回 (6月、9月、12月、3月)
  - (5) 訪問看護基礎研修会 7/28、8/25、10/20、11/26、12/22 参加者 22名
  - (6) プラチナナース研修会 9/29 Web開催 参加者 28名
- 5) ナースセンター事業の広報
- (1) 「看護ちば」にナースセンターだよりを掲載  
137号、138号、139号、140号 (4月、7月、10月、1月)
  - (2) ナースセンターのリーフレット配布
  - (3) 県内市町村にワクチン接種の看護職確保のためのナースセンター活用の案内
- 6) 関係機関との連携
- (1) 2021年度ナースセンター事業担当者会議 (日本看護協会主催) 5/21
  - (2) 就業準備金にかかる日本看護協会との契約に関するWeb説明会 6/30
  - (3) 労働法に関する勉強会 7/21
  - (4) 2021年度都道府県ナースセンター地区別意見交換会 9/2
  - (5) 地域に必要な看護職確保推進事業報告会 3/23
- 7) 看護職への相談支援 8,340名
- 8) 看護進路相談事業
- (1) 進路相談 37件
  - (2) 出前授業 21校 (中学校 12校 高等学校 9校) 参加者 1,592名
  - (3) ふれあい看護体験 協力施設の募集 協力施設 39施設  
実施施設 28施設 参加者 418名

## 1 2025年を見据えた看護職の定着・確保の推進

### 1-4 看護政策推進・組織強化の推進（会員増の推進）

#### 実施内容

##### 1. 看護政策推進のための組織強化の推進

- 1) 第5次看護職定着・確保の推進
- 2) 会員増の推進
  - (1) 新規・再入会の促進
  - (2) 繼続会員への勧奨
  - (3) 千葉県内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内

#### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

当協会では、2020年より健康の保持増進、疾病予防、病気や障がいがあっても自分らしい生活が送れるよう「2025年に向けた看護の挑戦 看護の将来ビジョン～いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護～」の実現を目指している。実現のためには、看護政策を提案し、実行できる組織として、組織強化を図り、成長していく必要がある。組織強化には、会員数を増員し看護の機能と看護職の役割について社会的な合意を得ながら法制化や制度的環境を整えていく必要がある。本県は特に慢性的な看護師不足が続いている、離職率の高さや看護学生の県内就業状況等の課題を踏まえ、平成19年度から「看護職定着・確保推進計画」を策定し、目標を達成するための設定指標（数値目標）を設定して各事業を推進している。

#### 成果

- 1) 第5次看護職定着・確保の推進
  - (1) 看護ちば、協会ホームページによる広報  
「看護ちば」138号（4月）及び協会ホームページに掲載
  - (2) 令和3年度定時総会・施設等会員代表者会・理事会で説明
  - (3) 看護職定着・確保対策協議会 3/3 Web開催
- 2) 会員増の推進
  - (1) 新規・再入会の促進 28,794人
    - ①入会促進ツール（日本看護協会）の配付  
入会促進用チラシ、新しい福利厚生サービスのチラシ、看護協会ガイドブック  
[千葉県看護協会版] 302施設
    - ②入会案内の配布 県内訪問看護ステーション 454施設
  - (2) 繼続会員への勧奨
    - ①新規入会者への案内「入会されたあなたへ～information～」等の送付 2,297名
    - ②看護ちばへの掲載 137号、139号、140号
  - (3) 千葉県内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内
    - ①看護学生の表彰  
対象：36校、36名
    - ②千葉県内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内  
対象：令和3年度卒業生42校、2,588名
    - ③協会の機能と役割に係る特別講話  
対象：14校

## 1 2025年を見据えた看護職の定着・確保の推進 1-5 看護職の魅力の発信による次世代を担う人材の確保

### 実施内容

#### 1. 看護職の魅力の発信による次世代を担う人材の確保事業

- 1) 進路相談
- 2) 出前事業
- 3) ふれあい看護体験
- 4) 進路相談教員等への情報提供

### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

県内の学校に通う児童・生徒や保護者、学校の進路相談担当者を対象として、看護についての知識や理解を深めることにより、看護学生の確保を図ることを目的として実施している。（出前授業は平成17年度から、ふれあい看護体験は平成22年度から通年実施）

出前授業やふれあい看護体験の参加者は年々増加しているが、今後は18歳人口が減少し看護人材が不足することから、2030年には18歳人口の18人に1人に看護の仕事を選択してもらう必要があると試算されている。（日本看護協会）このため、若年層を対象とした看護職の魅力の発信を強化する必要がある。

### 成果

- 1) 進路相談（再掲） 37件
- 2) 出前事業（再掲） 21校（中学校 12校 高等学校 9校） 参加者 1,592名
  - (1) 5/12 第31回県民が集う「看護の日」イベントとしてラッピングバスの運行、  
出前授業を実施 高等学校 1校 参加者 19名
  - (2) 上記以外の実施校 20校（中学校 12校 高等学校 8校） 参加者 1,573名
- 3) ふれあい看護体験（再掲） 協力施設の募集 協力施設 39施設  
実施施設 28施設 参加者 418名

## 1 2025年を見据えた看護職の定着・確保の推進 1-6 医療安全対策の推進

### 実施内容

#### 1. 医療安全対策の推進事業

- 1) 医療・看護に関する相談支援・情報提供
  - (1) 医療事故調査に関する情報提供・支援者紹介
  - (2) 「世界患者安全の日」の啓発
- 2) 医療安全文化の醸成
  - (1) 医療安全大会の開催
  - (2) 医療安全推進の普及啓発（標語・ポスター）
- 3) 医療安全管理者の育成
  - (1) 医療安全管理者養成研修会
  - (2) 医療安全担当者中央交流会
  - (3) 医療安全担当者地区交流会
- 4) 関係機関等との連携促進
- 5) 医療安全委員会の開催

#### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

平成11年相次ぐ医療事故の報道以降、国は医療機関における医療安全管理体制の整備を進めてきた。また、日本看護協会では、職能団体として看護職の安全なケア環境をつくるため様々な取り組みを行っている。当協会においても、看護職が安全に安心して働き続けられる環境づくりを目指し、医療安全の確保推進事業を実施してきた。

平成17年より「医療安全推進週間」に合わせて、多職種参加の医療安全大会の開催や医療安全に関する標語を募集しポスターにして配布する等、県内の医療従事者の、医療安全への意識の向上と普及啓発を図ってきた。

今後は、今年度で17回目となる医療安全大会を、より有意義なものにしていくために、行政および医師会等と共同主催する等、大会の在り方を含めた見直しが必要である。

さらに、平成31年の世界保健機関の総会において、患者安全を促進することへの人々の意識・関心を高め、国際的な理解を深めるため、11月17日が世界患者安全の日と制定された。医療安全推進週間と共に、医療安全文化の醸成に向けた取り組みを継続していく。

#### 成果

- 1) 医療・看護に関する相談支援・情報提供
  - (2) ホームページにて、世界患者安全の日(WPSD)を紹介し県民へ啓発  
千葉ポートタワーをシンボルカラーであるオレンジ色にライトアップ  
(9/17～9/23 千葉県及び千葉市、認知症の人と家族の会千葉県支部と連携)
- 2) 医療安全文化の醸成
  - (1) 医療安全大会 11/21 Web開催  
テーマ：コロナ禍における多職種連携の視点で考える医療安全  
参加者 216名（一般参加者数：193名 関係者数：23名）
  - (2) 標語応募数518作品
- 3) 医療安全管理者の育成
  - (2) 医療安全担当者中央交流会 7/31 Web開催  
テーマ：身体抑制と医療安全 参加者 35名 参加施設 33施設
  - (3) 医療安全担当者地区交流会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため  
全地区中止
- 5) 医療安全委員会 7/30、8/20、9/17、10/15、2/18

## 2 質の高い看護の提供体制の構築・推進

### 2-1 生涯教育の推進

#### 実施内容

##### 1. 生涯教育の開催

- 1) 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育
- 2) ラダーと連携した継続教育
- 3) 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育
- 4) 専門能力開発を支援する教育体制の充実にむけた継続教育
- 5) 資格認定教育

#### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

看護職がさまざまな場で専門職としての役割を発揮していくためには、自律性が不可欠であり、新たな医療ニーズに対応する能力を身につけ、質の高い看護を提供するための研修と人材育成およびキャリア開発を念頭において継続教育が必要であり、千葉県看護協会でも生涯教育計画として現任教育を実施している。令和元年度から、日本看護協会の「5つの研修分類」の区分と「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」を各研修に表記し、受講の目安となるようにした。

個々の看護職が専門職として自己研鑽でき、さらに組織のニーズにも対応できるような魅力的な研修を検討し、実施していく必要がある。

また、令和3年度から研修システムmanableを導入し、研修管理・運営を行っている。新型コロナウイルス感染拡大の影響から、Web配信研修を中心に実施しているが、対面研修とWeb配信研修の利点を検討したうえで、研修方法を決定していく必要がある。

#### 成果

- 1) 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育  
(17研修中 16研修終了・1研修中止)
- 2) JNAラダーと連携した継続教育  
(87研修中 82研修終了・5研修中止)
  - (1) ニーズをとらえる力 (11研修中 11研修終了)
  - (2) ケアする力 (20研修中 20研修終了)
  - (3) 協働する力 (4研修中 3研修終了 1研修中止)
  - (4) 意思決定する力 (3研修中 3研修終了)
  - (5) 看護共通 (49研修中 45研修終了・4研修中止)
- 3) 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育  
(8研修中 8研修終了)
- 4) 専門能力開発を支援する教育体制の充実にむけた継続教育  
(2研修中 2研修終了)
- 5) 資格認定教育  
(6研修中 5研修終了・1研修中止)

## 2 質の高い看護の提供体制の構築・推進

### 2-2 看護研究学会の開催

#### 実施内容

##### 1. 看護研究学会の開催

1) 第40回千葉県看護研究学会の開催

令和3年11月4日（木） Web開催

#### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

看護研究を行うことは、科学的根拠に基づく看護（EBN）を実践することにつながり、看護の質の向上を目指した活動であり、専門職としての責務もある。千葉県看護協会では昭和57年度から研究発表を行う場として学会を毎年1回開催してきた。しかし、令和元年度以降新型コロナウイルス感染拡大の影響は大きく、開催方法の変更や中止を余儀なくされ、演題応募数の減少が顕著になっている。

臨床現場において質の高い看護を提供するために、看護研究に取り組み、研究結果として得られた新知見を発表し共有できる看護研究学会の開催の意義は大きい。そのため、演題応募数および参加者数の増加を念頭においていた実践報告発表の検討や倫理審査の実施を含めた研究活動の支援の在り方を、引き続き検討していく。

#### 成果

1) 第40回千葉県看護研究学会の開催

11/4 中止

## 2 質の高い看護の提供体制の構築・推進

### 2-3 看護職の専門性の理解と活動推進に向けた啓発

#### 実施内容

##### 1. 看護職の専門性の理解と活動推進に向けた啓発

###### 1) 専門・認定看護師制度の普及・活用

専門・認定看護師等の理解と資格取得・就業の推進

⇒新型コロナウイルス感染症対策に従事した看護職の対応等

#### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

平成6年に資格認定制度が発足し、診療報酬加算の要件に専門看護師・認定看護師の配置が規定されていることもあり、専門・認定看護師制度の普及は進んでいる。令和2年12月現在の千葉県の登録者数は、専門看護師101名、認定看護師845名となった。令和2年以降の新型コロナウイルス感染症対策においては、感染の分野の専門看護師・認定看護師が専門性を発揮して活動した。専門性の高い看護職の役割の重要性が認知された。

しかし、令和元年10月の調査によると、認定看護師が所属している病院の割合は、200～299床で48.9%、150～199床で38.3%となっており、中小規模病院における認定看護師の資格取得・就業に課題がある。

今後もチーム医療を推進していく中で看護の専門性を発揮するためには、より専門的で質の高い知識や技術を持ったスペシャリストの育成は不可欠であり、組織として資格取得と活動を支援できるよう、活用可能な情報を適宜発信していく必要がある。

また、研修等で指導・支援可能な県内の専門看護師・認定看護師の状況を把握し、エントリー制にする等の取組みについても検討していく。

#### 成果

##### 1) 専門・認定看護師制度の普及・活用

・生涯教育研修の担当講師

専門・認定看護師の講師 37研修 62名

### 3 地域包括ケアにおける看護提供体制の構築・推進

#### 3-1 療養する高齢者のみでなく、母子、障がいのある人々などを含む 地域包括ケアシステムの構築・推進

##### 実施内容

###### 1. 療養する高齢者のみでなく、母子、障がいのある人々などを含む 地域包括ケアシステムの構築・推進

- 1) 地域包括ケア推進における看護活動の研修の開催
- 2) 医療的ケア児を支援する地域包括ケア研修の開催

##### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

少子超高齢多死社会においては、医療は病院完結型から地域完結型へと移行し、住み慣れた地域社会で暮らす医療依存度の高い在宅療養者（児）や障がい者（児）が増加し、全世代を対象とした地域包括ケアシステムの構築が求められている。地域において疾病・障害・健康等の状態にかかわらず全世代を対象に生活全般を支援をする看護職がその機能を発揮し、関係機関・多職種との連携を推進する必要がある。

- 1) 地域包括ケアシステムの構築・推進に係る看護活動の対象を高齢者、母子に広げて年間計画に入れ研修を実施してきた。今後は、従来の研修に加え、障がいのある人への看護活動について、研修の検討をする必要がある。
- 2) 平成29年度より千葉県委託事業として、NICU看護師養成研修（生活モデルを基盤とした在宅移行支援）を開始した。令和元年度には「新生児等からの在宅移行支援研修」と名称を変更した。今後も継続して実施していく必要がある。

##### 成果

- ・生涯教育（再掲・詳細）：「医療から在宅へのバトンタッチ」研修実施

## 2 質の高い看護の提供体制の構築・推進

### 2-4 特定行為研修制度の普及・活用

#### 実施内容

##### 1. 看護職の専門性の理解と活動推進に向けた啓発

###### 1) 特定行為研修制度の普及・活用

特定行為研修制度の理解と資格取得・就業の推進

#### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

チーム医療を推進し、看護師がさらに役割を発揮するために、平成27年10月に「特定行為に係る研修制度」が施行され、令和元年度の認定看護師制度改正により、認定看護師教育課程に特定行為研修が組み込まれ、令和3年度から活動することとなった。

日本看護協会の「看護の将来ビジョン」（平成27年）において、特定行為研修制度を通して、高度な看護を実践する能力を持つ看護職の育成を推進するとしており、少子超高齢社会における地域・国民のニーズに積極的に応えるため、制度の活用の推進が求められている。また、チーム医療および医師の働き方改革を推進する観点からタスク・シフティングを進めるためにも、この制度の普及と活用が重要である。

全国の特定行為研修修了者は2,887名（令和2年10月時点）、研修機関は46都道府県で272機関（令和3年3月時点）であるが、千葉県の登録者は111名、研修機関は4施設となっている。質の高い看護の提供体制の構築を目指し、千葉県看護協会の会員施設および会員に対して特定行為研修制度の理解促進のために、特定行為研修修了者の活動や指定研修機関の研修生受け入れに関する情報提供等を行う研修の実施を検討する必要がある。

#### 成果

##### 1) 特定行為研修制度の普及・活用

- ・第52回（2021年度）日本看護学会学術集会 9/28 シンポジウム  
テーマ「地域において看護の力を発揮する特定行為研修修了者の育成」ライブ配信  
オンデマンド配信（11/26～12/26）
- ・新規特定行為研修機関のHP掲載（9月）

### 3 地域包括ケアにおける看護提供体制の構築・推進

#### 3-2 地域連携強化と多職種連携会議への参画

##### 実施内容

###### 1. 訪問看護提供体制の推進

- 1) 地域連携フォーラムの開催
- 2) 地域包括関連会議への参画・意見具申化

###### 2. 訪問看護師確保・育成

- 1) 訪問看護推進協議会の開催
- 2) 訪問看護基礎研修会
- 3) 訪問看護ステーション見学会
- 4) 訪問看護就職フェアの開催
- 5) 訪問看護師育成のための人材派遣、研修等

#### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

訪問看護提供体制の推進には、多職種・多機関の連携が重要であり、当協会では平成25年度から令和2年度まで、協会12地区の中から、2年サイクルで看看連携・看看ケアマネ連携フォーラムを開催しており、開催地区（7地区）においてはこれを契機に、関係機関との連携会議等の取組みが行われ、訪問看護提供体制の推進につながっている。今後は、全県へ拡大していくことが課題であり、県内全体のさらなる推進を図ることが必要である。

また、地域包括ケアの担い手となる訪問看護師数について、本県は全国において下位であることや小規模訪問看護ステーションが県内7割を占めていることから、訪問看護師の確保・育成を図る必要がある。

#### 成果

##### 1. 訪問看護提供体制の推進

- 1) 地域連携フォーラムの開催 12/4 Web開催 参加者 49名

##### 2. 訪問看護師確保・育成

###### 1) 訪問看護推進協議会の開催

- ・第1回訪問看護推進協議会 7/20 Web開催  
議題：令和2年度事業実施状況及び令和3年度事業計画について、今後の訪問看護推進の方向性について、訪問看護総合支援センター（仮称）について
- ・第2回訪問看護推進協議会 12/23  
議題：令和3年度事業実施状況について、今後の訪問看護推進の方向性について  
訪問看護総合支援センター（仮称）について

- 2) 訪問看護基礎研修会（再掲） 7/28、8/25、10/20、11/26、12/22

参加者 22名

- 3) 訪問看護ステーション見学体験（8月～2月） 参加者 8名

- 4) 訪問看護就職フェアの開催 1/15開催 参加者 19名 求人施設 14施設

- 5) 訪問看護師育成のための人材派遣、研修等

訪問看護指導者育成研修会 9/25、10/9 Web開催 参加者 37名

### 3 地域包括ケアにおける看護提供体制の構築・推進

#### 3-3 地域包括ケアを実現するための人材確保（訪問看護師、保健師等）

##### 実施内容

1. 訪問看護総合支援センター設置に向けた検討

2. 地方自治体への要望

- 1) 保健師増員
- 2) 産後ケアの体制整備

#### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

本県においては小規模訪問看護ステーションが7割を占める現状から、人材確保、経営支援、訪問看護の質向上が課題となっている。日本看護協会が提案している訪問看護総合支援センターは、訪問看護に関するさまざまな課題を一体的・一元的に解決し、地域における訪問看護提供体制の安定化・推進支援を図る拠点であり、本県においても訪問看護総合支援センター設置に向けた検討を開始する。

また、令和3年の県内保健師数は1,500人、人口10万対33.3（平成30年）で全国平均よりも低い現状にある。地域包括ケアシステムを推進するためには、地域包括の中心的役割を担う統括保健師の増員が求められる。さらに、産後ケアの体制整備として、子育て世代包括支援センターにおける医療機関・地域等の助産師と市町村の連携強化を図る必要があり、自治体へ要望を継続していく。

#### 成果

1. 千葉県看護協会と千葉県訪問看護ステーション協会との連携会議 7/10、2/5  
また、第1回訪問看護推進協議会 7/20にて、設置に向けての情報共有および意見交換実施
2. 千葉県へ要望書提出 9/9

## 4 地域における健康危機管理体制の整備

### 4-1 新興感染症等パンデミックへの対応、体制の整備

#### 実施内容

1. 協定締結等による役割の明確化と連携強化

2. 県対策本部への参加による関係機関との連携・情報共有

3. 会員施設・会員のニーズ把握

#### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

この度の新型コロナウイルス感染症をはじめとする新興感染症による感染拡大は、世界的な問題であり、医療・看護の現場においては患者の受け入れや自施設での感染者の発生など、収束の予測がつかない中で長期的に広範囲に及ぶ対策に看護職の専門性を發揮し続けなければならない。感染症対策を安全・安心に継続するためには、情報の共有と関係機関の連携、看護職の役割の明確化が重要であり、協定締結と県対策本部への看護職の参加が必須となる。

また、必要な対応策を適切に講じるために、医療・看護の現場である会員施設・会員からの情報・ニーズの把握により県内の情報収集をいち早く行うことが必要である。

#### 成果

##### 2 県対策本部等への参加

- ・千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議専門部会 計15回
- ・千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議専門部会周産期対応に係るワーキング等 計2回
- ・重点医療機関等によるウェブ会議 計17回

##### 3 会員施設への物品配布

延べ498施設

- ・クールベスト1,960着（400着）
- ・防護服2,750枚（250枚）
- ・サージカルマスク18,750枚（750枚）
- ・N95マスク8,400枚（400枚）
- ・パルスオキシメーター150個（50個）
- ・非接触体温計155個（40個）
- ・消毒用アルコール400個（300個）
- ・ニトリルグローブS・M52,000枚（12,000枚）

※（ ）は日本看護協会からの支援

- ・経口補水液 1,929本（業者直送）
- ・防護具等・パルスオキシメーター・タブレット端末他（抽選）

## 4 地域における健康危機管理体制の整備

### 4-2 大規模災害発生時の対応体制の整備

#### 実施内容

1. 協定締結等による役割の明確化と連携強化

2. 県対策本部への参加による関係機関との連携・情報共有

3. 会員施設・会員のニーズ把握

#### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

近年の災害は広範囲に甚大な被害が頻発しており、平時から有事に向けた準備が必要とされる。現在、災害発生時の対応は県との間で平成13年8月に締結された「災害時の医療救護活動に関する協定書」により実施しているが、その活動は医療救護活動に協力するとされており、看護職が広範囲に活躍している実情にそぐわない現状がある。求められる支援に迅速に対応するためには、情報の共有と関係機関の連携、看護職の役割の明確化が重要であり、現行の協定の見直しと県対策本部への看護職の参加が必須となる。

また、必要な対応策を適切に講じるために、医療・看護の現場である地区部会や会員施設・会員からの情報・ニーズの把握など、県内の情報収集をいち早く行うことが必要である。

#### 成果

- 2 県対策本部への参加
  - ・千葉県防災会議 計1回（書面）

## 4 地域における健康危機管理体制の整備

### 4-3 災害支援・感染症対策を担う看護職の育成

#### 実施内容

1. 専門・認定看護師育成の推進

2. 看護管理者対象の人材育成・活用のための研修の開催

#### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

地域における災害・感染症に対応するためには、高度で専門的な知識・技術を必要とされる場で活用し看護の役割を発揮することが重要である。そのためには、専門分野に特化した専門・認定看護師や特定行為研修修了者等の人材育成と活用を推進する所属の理解と職場環境の整備が必要となる。県内の感染症看護専門看護師は3名、感染管理認定看護師は111名(令和2年12月現在)である。

一方、災害への対応は、災害支援ナース登録者246名(令和3年3月現在)に対して基本的な知識・技術や最新の情報など基礎編・実践編の研修、災害支援ナース更新・再登録要件講習会などの開催、感染症では医療安全や感染症の基礎知識とPPEなど演習等感染症に特化した研修を実施し、より安全で安心な看護を提供できるようにしている。

また、人材育成・活用に対する理解と体制づくりを推進するためには、看護管理者の理解が重要であり、研修等による推進が必要である。

#### 成果

##### 2.人材育成（看護管理者含）・活用のための研修の開催

- ・新型コロナワクチン接種技術研修の実施 計24回  
(千葉県警出張研修1回・臨床検査技師への出張研修1回を含む)  
受講者総数 看護職315名+薬剤師5名+臨床検査技師40名
- ・感染症対策強化研修の実施 計10回 受講者総数127名
- ・訪問看護師対象感染症対策強化研修の実施 計3回 受講者総数35名
- ・コロナ禍における「周産期にかかる看護職の情報交換会」  
～母子の命を救うために～ 12/11 Web開催 参加者 29名
- ・新型コロナウイルス感染症対応看護職員等の人材確保事業  
派遣先：沖縄県那覇市内宿泊療養施設 看護師2名(各14日間)

## 令和3年度 事業報告

### 【重点事業】

- 1 2025年を見据えた看護職の定着・確保の推進
- 2 質の高い看護の提供体制の構築・推進
- 3 地域包括ケアにおける看護提供体制の構築・推進
- 4 地域における健康危機管理体制の整備

### ●事業計画は、定款第4条の7つの事業に沿って掲載

1. 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業
2. 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等による看護師等の人材確保・定着に関する事業
3. 訪問看護の推進に関する事業
4. 県民の健康・福祉の増進に関する事業
5. 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業
6. 指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業
7. その他この法人が目的を達成するために必要な事業

重点事業：強調、新規事業：太ゴシック

### I 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業

#### 【目的】

県民に安全で安心な医療・看護を提供するために、職能団体の責任において、専門職としての生涯教育を提供し、看護職の資質の向上を図る。

事業計画	実績																												
1.生涯教育 重点事業2-1 120研修  【目標】 看護専門職として社会のニーズや医療の進歩に対応できる知識・技術を高め、より質の高い看護実践能力を修得できるように支援する。	1.生涯教育（120研修中113研修終了・7研修中止） 令和3年度生涯教育研修 実施状況（4～3月）別表参照  研修実施状況（平成30年度～令和3年度） <table border="1"><thead><tr><th></th><th>定員(名)</th><th>受講者数(名)</th><th>受講率(%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成30年度</td><td>7,994</td><td>7,321</td><td>91.6</td></tr><tr><td>令和元年度</td><td>8,016</td><td>6,600</td><td>82.3</td></tr><tr><td>令和2年度</td><td>2,526</td><td>1,204</td><td>47.7</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>10,625</td><td>3,633</td><td>34.2</td></tr></tbody></table> <p>オンデマンド研修実施状況</p> <table border="1"><thead><tr><th>実施研修数</th><th>定員(名)</th><th>受講者数(名)</th><th>受講率(%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>14</td><td>1,320</td><td>74</td><td>5.6</td></tr></tbody></table> <p>分類1「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育 17研修  ・臨床現場で遭遇するアレルギー疾患の基礎知識 ・医療安全管理者養成研修【診療報酬加算対応】 【JNAインターネット配信研修「オンデマンド」】 ・准看護師のためのスキルアップ研修 認知症と医療安全 ～転倒転落を防ぐケア～ 他</p>		定員(名)	受講者数(名)	受講率(%)	平成30年度	7,994	7,321	91.6	令和元年度	8,016	6,600	82.3	令和2年度	2,526	1,204	47.7	令和3年度	10,625	3,633	34.2	実施研修数	定員(名)	受講者数(名)	受講率(%)	14	1,320	74	5.6
	定員(名)	受講者数(名)	受講率(%)																										
平成30年度	7,994	7,321	91.6																										
令和元年度	8,016	6,600	82.3																										
令和2年度	2,526	1,204	47.7																										
令和3年度	10,625	3,633	34.2																										
実施研修数	定員(名)	受講者数(名)	受講率(%)																										
14	1,320	74	5.6																										
分類1「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育 17研修  ・臨床現場で遭遇するアレルギー疾患の基礎知識 ・医療安全管理者養成研修【診療報酬加算対応】 【JNAインターネット配信研修「オンデマンド」】 ・准看護師のためのスキルアップ研修 認知症と医療安全 ～転倒転落を防ぐケア～ 他	<p>分類1「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育 (17研修中16研修終了・1研修中止)</p> <table border="1"><thead><tr><th>研修名</th><th>定員(名)</th><th>受講数(名)</th><th>受講率(%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>臨床現場で遭遇するアレルギー疾患の基礎知識</td><td>100</td><td>33</td><td>33.0</td></tr><tr><td>准看護師のためのスキルアップ研修 認知症ケアと医療安全 ～転倒転落を防ぐケア～</td><td>20</td><td>9</td><td>45.0</td></tr><tr><td>【JNAオンデマンド活用研修】 准看護師のためのスキルアップ研修 ～誤嚥性肺炎を予防する食事介助～</td><td>20</td><td>5</td><td>25.0</td></tr></tbody></table>	研修名	定員(名)	受講数(名)	受講率(%)	臨床現場で遭遇するアレルギー疾患の基礎知識	100	33	33.0	准看護師のためのスキルアップ研修 認知症ケアと医療安全 ～転倒転落を防ぐケア～	20	9	45.0	【JNAオンデマンド活用研修】 准看護師のためのスキルアップ研修 ～誤嚥性肺炎を予防する食事介助～	20	5	25.0												
研修名	定員(名)	受講数(名)	受講率(%)																										
臨床現場で遭遇するアレルギー疾患の基礎知識	100	33	33.0																										
准看護師のためのスキルアップ研修 認知症ケアと医療安全 ～転倒転落を防ぐケア～	20	9	45.0																										
【JNAオンデマンド活用研修】 准看護師のためのスキルアップ研修 ～誤嚥性肺炎を予防する食事介助～	20	5	25.0																										

	研修名	定員(名)	受講数(名)	受講率(%)
【JNA収録DVD研修】 認知症高齢者の看護実践に必要な知識 【診療報酬加算対応】	50	40	80.0	
【JNA収録DVD研修】 認知症高齢者の看護実践に必要な知識 【診療報酬加算対応】	50	43	86.0	
【JNA収録DVD研修】 認知症高齢者の看護実践に必要な知識 【診療報酬加算対応】	50	68	136.0	
看護職員認知症対応力向上研修(千葉県委託)	50	35	70.0	
認知症対応力向上研修(千葉市委託) 【診療報酬加算対応】	50	59	118.0	

分類2: JNAラダーと連動した継続教育 87研修

(1)ニーズをとらえる力 (11研修)

- ・フィジカルアセスメントの基本を学ぼう① 検査データの読み方・活かし方
- ・フィジカルアセスメントの基本を学ぼう② 意識障害のアセスメント
- ・フィジカルアセスメントの基本を学ぼう③ 呼吸のアセスメント
- ・フィジカルアセスメントの基本を学ぼう④ 循環のアセスメント
- ・フィジカルアセスメントの基本を学ぼう⑤ 腹部症状のアセスメント 他

(2)ケアする力 (20研修)

- ・急性期から回復期へつなぐ皮膚排泄ケアの基本  
～スキン-テアの基礎知識と褥瘡予防ケア～
- ・地域における看取りを考える  
～在宅・介護施設における看取り～他

(3)協働する力 (4研修)

- ・リーダーを始める人のためのコーチング 他

(4)意思決定する力 (3研修)

- ・患者を守り・自分を守る看護倫理の基礎 他

(5)看護共通 (49研修)

- ・共に考えよう! 2年目として「やりがいのある働き方」
- ・周手術期の看護 ～麻酔の機序と術後ケア～
- ・基礎から学ぶ臨床推論～看護の臨床判断を高めるスキル～
- ・地域保健を効果的に進めるための保健師研修(仮) 他

分類2 JNAラダーと連動した継続教育 (82研修終了・5研修中止)

(1)ニーズをとらえる力 (11研修終了)

研修名	定員(名)	受講数(名)	受講率(%)
フィジカルアセスメントの基本を学ぼう ①検査データの読み方・活かし方	100	45	45.0
フィジカルアセスメントの基本を学ぼう ②意識障害のアセスメント	100	25	25.0
フィジカルアセスメントの基本を学ぼう ③呼吸のアセスメント	100	37	37.0
フィジカルアセスメントの基本を学ぼう ④循環のアセスメント	100	43	43.0
フィジカルアセスメントの基本を学ぼう ⑤腹部症状のアセスメント	100	11	11.0
合計	500	161	32.2

(2) ケアする力 (20研修終了)

研修名	定員(名)	受講数(名)	受講率(%)
急性期から回復期へつなぐ皮膚排泄ケアの基本 ～スキン-テアの基礎知識と褥瘡予防ケア～	100	85	85.0
地域における看取りを考える ～在宅・介護施設における看取り～	60	42	70.0

(3)協働する力 (3研修終了・1研修中止)

研修名	定員(名)	応募数(名)	
新生児科等からの在宅移行支援研修 (千葉県委託)	20	5	中止

小児在宅移行支援アンケート  
対象: NICUのある病院12施設  
目的: 小児に対する在宅移行支援研修の受講意向を確認する

回答項目	回答数
加算算定のために、複数年継続して受講させたい	5
加算に関係なく、職員の自己研鑽のために受講させたい	4
今後必要性を判断し検討する	2
受講させる予定はない	1

(4)意思決定する力 (3研修終了)

(5)看護共通 (45研修終了・4研修中止)

研修名	定員(名)	応募数(名)	受講率(%)
周手術期の看護 ～麻酔の機序と術後ケア～(隔年開催)	100	39	39.0
基礎から学ぶ臨床推論 ～看護の臨床判断能力を高めるスキル～	100	65	65.0

		<table border="1"> <thead> <tr> <th>研修名</th><th>定員(名)</th><th>応募数(名)</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域保健を効果的に進めるための保健師研修 ～個々の事例への支援技術の向上を目指して～</td><td>20</td><td>2</td><td>中止</td></tr> </tbody> </table>	研修名	定員(名)	応募数(名)		地域保健を効果的に進めるための保健師研修 ～個々の事例への支援技術の向上を目指して～	20	2	中止	
研修名	定員(名)	応募数(名)									
地域保健を効果的に進めるための保健師研修 ～個々の事例への支援技術の向上を目指して～	20	2	中止								
分類3：看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた 継続教育	8研修	分類3 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量 形成に向けた 継続教育（8研修終了）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師のクリニカルラダー(日本看護協会版) の理解と施設内教育への活用 【JNAオンデマンド活用研修】</li> <li>・看護補助者の活用促進のための看護管理者研修</li> <li>・職場適応を支えるメンタルヘルス ～うつ・発達障害の基本的知識とその対応～</li> <li>・ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）について学ぼう！ 他</li> </ul>		<table border="1"> <thead> <tr> <th>研修名</th><th>定員(名)</th><th>応募数(名)</th><th>受講率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【JNAオンデマンド活用研修】 看護師のクリニカルラダー(日本看護協会版) の理解と施設内教育への活用</td><td>40</td><td>40</td><td>100.0</td></tr> </tbody> </table>		研修名	定員(名)	応募数(名)	受講率(%)	【JNAオンデマンド活用研修】 看護師のクリニカルラダー(日本看護協会版) の理解と施設内教育への活用	40	40	100.0
研修名	定員(名)	応募数(名)	受講率(%)								
【JNAオンデマンド活用研修】 看護師のクリニカルラダー(日本看護協会版) の理解と施設内教育への活用	40	40	100.0								
分類4：専門能力開発を支援する教育体制の充実 に向けた継続教育	2研修	分類4 専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育 (2研修終了) 別表参照									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人を育てる臨地実習</li> <li>・教育担当者研修</li> </ul>		分類5：資格認定教育 別表参照									
分類5：資格認定教育	6研修	分類5：資格認定教育 別表参照 (5研修終了・1研修中止)									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問看護師養成講習会</li> <li>・喀痰吸引指導者養成講習会</li> <li>・認定看護管理者教育課程 ファーストレベル 教育課程 ～第39回～</li> <li>・認定看護管理者教育課程 ファーストレベル 教育課程 ～第40回～</li> <li>・認定看護管理者教育課程 セカンドレベル 教育課程 ～第20回～</li> <li>・千葉県看護教員養成講習会</li> </ul>		<p>トピックス 保健師研修 「新型コロナウイルス感染症第6波に備える」 参加者 14名 看護師基礎教育を考える会 参加者 157名</p>									
2.千葉県看護研究学会	重点事業2-2	2.千葉県看護研究学会 1)第40回千葉県看護研究学会 ・開催日 未定 ・場 所 東京ベイ幕張ホール									
3.図書室の運営管理		3.図書室の運営管理 閉館 1)図書の管理運営 購入図書 33冊、寄贈図書 245冊、購入雑誌 31誌、寄贈雑誌 12誌 図書室専用ホームページアクセス件数 書籍所蔵検索 717件 雑誌所蔵検索 336件									
2)資料・文献検索・レファレンス・メールによる文献複写等の相談 等		2)資料・文献検索・レファレンス 文献検索等相談件数 19件 郵送文献複写申込件数 2件									

<b>4.委員会の開催</b>	<b>4.委員会の開催</b>
1)事業運営のための委員会の開催	1)事業運営のための委員会の開催
(1)教育委員会 年6回	(1)教育委員会 Web開催 8/24 10/8 11/16 対面開催 12/21 1/11
(2)看護研究委員会 年6回	(2)看護研究委員会 Web開催 9/3 10/7 11/12 1/21
(3)認定看護管理者教育課程運営委員会 年4回程度	(3)認定看護管理者教育課程運営委員会 Web開催 4/26 8/23 1/14 3/9
(4)千葉県看護教員養成講習会運営委員会 年2回程度	(4)千葉県看護教員養成講習会運営委員会 Web開催 1/13

## II 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等による看護師等の人材確保・定着に関する事業

### 【目的】

ヘルシーワークプレイスを踏まえて、看護職が専門性を発揮し、働き続けられるための環境づくりを推進し、看護職の確保定着を図る。

事業計画	実績
1.第5次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進  【目的】 看護職が働き続けられる職場づくりを目指して、看護職の定着・確保を図る 1)第5次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進 2)看護職定着確保対策協議会の開催 年1回 3)看護職定着・確保対策事業の普及啓発 (1)「看護ちば」、ホームページ等による広報  (2)各種協会事業を通した普及  4)労働環境改善委員会の開催 年6回 5)看護政策推進のための組織強化の推進  重点事業1-4	1.第5次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進  1)第5次看護職定着・確保推進計画の普及・推進 2)看護職定着確保対策協議会 3/3 3)看護職定着・確保対策事業の普及啓発 (1)「看護ちば」、ホームページ等による広報 「看護ちば」138号（4月）及び協会ホームページに掲載 (2)各種協会事業を通した普及 定時総会・施設等会員代表者会・理事会で説明 4)労働環境改善委員会 7/9 9/10 10/8 11/12 12/10 2/18
2.看護職の労働環境の向上  【目的】 県内に働く看護職の確保を図るとともに、専門性を発揮しヘルシーワークプレイスを踏まえ働き続けられるための環境づくりを推進する。 1)ヘルシーワークプレイス推進事業 重点事業1-1 (1)ヘルシーワークプレイスの広報  (2)ヘルシーワークプレイス取組宣言施設の募集 (3)ヘルシーワークプレイス推進週間の設置 (4)ヘルシーワークプレイスガイドライン周知のための研修	2.看護職の労働環境の向上  1)ヘルシーワークプレイス推進事業 (1)ヘルシーワークプレイスの広報 「看護ちば」137号、138号、139号、140号（4月、7月、10月、1月）に掲載 (2)ヘルシーワークプレイス取組宣言施設の募集（通年） 応募施設 3施設 (3)ヘルシーワークプレイス推進週間の設置 10/1～10/7 (4)ヘルシーワークプレイスガイドライン周知のための研修 開催日：11/4 Web開催 参加者：67名 テーマ：「ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)の実現に向けて」

<p>(5)ハラスメントに関する調査</p> <p>2)ワーク・ライフ・バランス相談窓口 (1)電話相談（週2日）</p> <p>3.看護進路相談事業</p> <p>【目的】</p> <p>県内の学校に通う児童・生徒並びにその保護者及び学校の進路相談担当者を対象として、看護についての知識や理解を深めることにより、看護学生の確保を図る。</p> <p>1)出前授業(いのちの大切さ教育等)</p> <p>2)ふれあい看護体験事業</p> <p>3)進路相談事業</p> <p>4)進路担当教員等への情報提供</p> <p>4.中小規模病院看護管理者の研修及び情報交換会</p> <p>【目的】</p> <p>臨床現場を離れて研修をうけにくくする状況にある中小規模病院の看護管理者が、院内で期待される本来の役割を果たすため、看護管理能力の向上を目指し、知識等を習得し、地域に共通する課題の解決に向けた方向性を見出す。</p> <p>1)中小規模病院看護管理者の研修及び情報交換会（県内2地区）</p>	<p>(5)ハラスメントに関する調査</p> <p>対象：千葉県看護協会会員施設病院の会員 1,000人（男女各500人）</p> <p>調査方法：郵送及びWeb</p> <p>調査期間：9/16～9/30</p> <p>回収状況：有効回収数346（有効回収率34.6%）</p> <p>結果の概要：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①回答者の69.9%が何らかのハラスメントを受けた経験があり、最も多いのは精神的暴力だった。</li> <li>②職場のハラスメントに関する取組みについて76.3%が具体的に知らない、何もしていないと思っており理解がされていない。</li> </ul> <p>2)ヘルシーワークプレイス相談窓口設置</p> <p>電話相談日：毎週火・木曜日 10時～15時</p> <p>件数：35件</p> <p>【内容】</p> <table border="1" data-bbox="727 691 1429 833"> <thead> <tr> <th colspan="10">個人からの相談に関すること</th> <th colspan="2">(延べ件数)</th> </tr> <tr> <th>①教育体制</th> <th>②パワーハラスメント</th> <th>③健康問題</th> <th>④職場復帰の不安</th> <th>⑤人間関係</th> <th>⑥待遇の不満</th> <th>⑦過重労働等</th> <th>⑧新型コロナ等に関する事</th> <th>⑨契約関係</th> <th>⑩その他</th> <th></th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>11</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>3</td> <td>62</td> </tr> </tbody> </table> <p>看護管理者からの相談に関すること</p> <table border="1" data-bbox="727 907 1429 1048"> <thead> <tr> <th colspan="10">看護管理者からの相談に関すること</th> <th colspan="2">(延べ件数)</th> </tr> <tr> <th>①離職・定着確保</th> <th>②パワーハラスメント</th> <th>③管理体制づくり</th> <th>④労働安全・メンタルヘルス対策</th> <th>⑤就業規則</th> <th>⑥健康管理</th> <th>⑦教育体制</th> <th>⑧新型コロナ関係</th> <th>⑨その他</th> <th></th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>3)ヘルシーワークプレイス推進アドバイザーによる施設訪問 9件</p> <p>3. 看護進路相談事業</p> <p>1)出前授業(いのちの大切さ教育等) 21校（中学校 12校 高等学校 9校） 参加者 1,592名</p> <p>2)ふれあい看護体験事業 協力施設 39施設 実施施設 28施設 参加者 418名 オンライン開催、看護の仕事の見学、DVD視聴等</p> <p>3)進路相談事業 相談件数 37件</p> <p>4)進路担当教員等への情報提供</p> <p>4. 中小規模病院看護管理者の研修及び情報交換会</p> <p>1)中小規模病院看護管理者の研修及び情報交換会 2/2 Web開催 参加者 講義48名 グループワーク35名 内容：①講義「組織の中で看護職が果たす役割 —適時調査対策—看護に関する診療報酬を正しく理解して経営に参画する ②グループワーク 「看護部ができる経営参画」</p>	個人からの相談に関すること										(延べ件数)		①教育体制	②パワーハラスメント	③健康問題	④職場復帰の不安	⑤人間関係	⑥待遇の不満	⑦過重労働等	⑧新型コロナ等に関する事	⑨契約関係	⑩その他		計	8	7	9	0	0	11	9	6	9	3	62	看護管理者からの相談に関すること										(延べ件数)		①離職・定着確保	②パワーハラスメント	③管理体制づくり	④労働安全・メンタルヘルス対策	⑤就業規則	⑥健康管理	⑦教育体制	⑧新型コロナ関係	⑨その他		計	0	3	3	0	0	0	0	0	1	7
個人からの相談に関すること										(延べ件数)																																																											
①教育体制	②パワーハラスメント	③健康問題	④職場復帰の不安	⑤人間関係	⑥待遇の不満	⑦過重労働等	⑧新型コロナ等に関する事	⑨契約関係	⑩その他		計																																																										
8	7	9	0	0	11	9	6	9	3	62																																																											
看護管理者からの相談に関すること										(延べ件数)																																																											
①離職・定着確保	②パワーハラスメント	③管理体制づくり	④労働安全・メンタルヘルス対策	⑤就業規則	⑥健康管理	⑦教育体制	⑧新型コロナ関係	⑨その他		計																																																											
0	3	3	0	0	0	0	0	1	7																																																												

## 5.ナースセンター事業(千葉県委託)

## 重点事業1-3

## 【目的】

ナースセンターに登録している未就業看護職等に対する復職支援及び職業紹介を行うとともに、看護職の定着・確保に寄与する。

## 1)看護職の定着確保に係る実態調査

## 5.ナースセンター事業(千葉県委託)

## 1)看護職の定着確保に係る実態調査

## (1)看護職の定着確保動向調査

(%)

対象	回収率
病院看護管理者	57.8
新人看護職員	
未就業看護職	34.2
訪問看護ステーション管理者	25.2
県・市町村の統括的役割を果たす保健師	76.4

主たる調査結果から

(病院看護管理者)

## ○離職率

(%)

	令和3年度	令和2年度	JNA 令和3年度
常勤看護職員	11.1	12.4	10.6
新卒看護職員	8.2	8.2	8.2
既卒看護職員	22.1	28.1	14.9

## ○離職理由

	1位	2位	3位
常勤看護職員	転職・進学等	健康上の理由	結婚・妊娠・出産・育児
新卒看護職員	メンタルヘルス不調	転職・進学等	健康上の理由
既卒看護職員	健康上の理由	結婚・妊娠・出産・育児	老親の世話・家族の介護

(新人看護職)

○やめたいと思ったこと：ある464名(70.0%、前年度71.4%)

○やめたいと思った理由：勤務時間内の仕事が終わらない 37.4%

看護職に向いていない 36.2%

医療事故を起こさないか心配 34.8%

○新型コロナウィルス感染症拡大に伴い困ったこと：

ある409名(61.7%)

困った理由：ストレス発散ができない 55.7%

同僚との交流がない 41.0%

感染がこわい 31.8%

(訪問看護ステーション管理者)

○離職率 常勤：14.6% 非常勤：15.0% 既卒：68.3%

○離職理由 1位：健康上の理由

2位：介護などの家庭の事情

3位：訪問看護以外への転職・進学

(県・市町村の統括的役割を果たす保健師)

○離職率 県：5.8% 市町村：4.8%

○離職理由 1位：転職・進学等

2位：メンタルヘルス不調

3位：結婚・妊娠・出産・育児

健康上の理由

職場の労働条件・環境への変化

2)看護職の無料職業紹介	<p>2)看護職の無料職業紹介 ※（ ）内は前年の実績</p> <table> <tbody> <tr><td>eナースセンター利用者数</td><td>8,367名 (5,090名)</td></tr> <tr><td>新規求人件数</td><td>2,467名 (1,949名)</td></tr> <tr><td>新規求職者数</td><td>2,533名 (876名)</td></tr> <tr><td>紹介者数(応募者数)</td><td>1,727名 延2,140名 (592名 延684名)</td></tr> <tr><td>就業者数</td><td>891名 (351名)</td></tr> </tbody> </table>	eナースセンター利用者数	8,367名 (5,090名)	新規求人件数	2,467名 (1,949名)	新規求職者数	2,533名 (876名)	紹介者数(応募者数)	1,727名 延2,140名 (592名 延684名)	就業者数	891名 (351名)																		
eナースセンター利用者数	8,367名 (5,090名)																												
新規求人件数	2,467名 (1,949名)																												
新規求職者数	2,533名 (876名)																												
紹介者数(応募者数)	1,727名 延2,140名 (592名 延684名)																												
就業者数	891名 (351名)																												
3)届出制度	<p>(1)ナースセンターコンピュータシステム(とどけるん)を利用し離職届の受理      (2)とどけるん登録者へ就業の意思確認とeナースセンターへの登録の働きかけ(一斉メール等)      (3)合同就職説明会開催情報、研修会、求人情報、施設概要等の提供      (4)届出者に対する就業支援      (5)就業確認 郵送による就業調査</p>																												
4)未就業看護職の就業支援	<p>(1)看護基礎技術講習会(4回/月程度開催)</p>																												
<p>(2)合同就職説明会の開催</p> <p>(3)訪問看護基礎研修会(年5回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・半日コース 年3回(地区1回、ナースセンター1回、Web研修1回)</li> <li>・1日コース 年2回(ナースセンター)</li> <li>・研修会受講後の再就業支援(再掲)</li> </ul> <p>(4)看護職への求人情報の提供</p> <p>(5)公共職業安定所と連携した相談ブースの設置</p> <p>(千葉2回/月、松戸2回/月、木更津1回/月、成田1回/月、船橋1回/月)</p> <p>(6)未就業看護師等再就業支援セミナーの開催 10回/年程度</p> <p>(7)サテライト事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共職業安定所と連携した相談ブースの設置(再掲)</li> <li>・合同就職説明会の開催(再掲)</li> <li>・再就業支援セミナーの開催(再掲)</li> </ul> <p>(8)就業相談推進アドバイザーによる求人施設の情報収集</p> <p>(9)プラチナナース研修会 対象:55才以上で定年退職を迎える看護職、定年した未就業看護職</p> <p>(10)ナースセンター来所者、ハローワーク相談者への就業確認 ・郵送による調査</p>	<p>2)看護職の無料職業紹介 ※（ ）内は前年の実績</p> <table> <tbody> <tr><td>eナースセンター利用者数</td><td>8,367名 (5,090名)</td></tr> <tr><td>新規求人件数</td><td>2,467名 (1,949名)</td></tr> <tr><td>新規求職者数</td><td>2,533名 (876名)</td></tr> <tr><td>紹介者数(応募者数)</td><td>1,727名 延2,140名 (592名 延684名)</td></tr> <tr><td>就業者数</td><td>891名 (351名)</td></tr> </tbody> </table> <p>3)届出制度</p> <p>(1)届出者数 1,176名 代行届出数 751名 代行届出率 63.9% (前年 1,097名 代行届出数 689名 代行届出率 62.8%) (2)一斉メール等によるeナースセンターへの登録の推進</p> <p>(3)合同就職説明会開催情報、研修会、求人情報、施設概要等の提供      (4)届出者に対する就業支援(電話・メール等)      (5)郵送による就業調査(届出の3ヶ月後)</p> <p>発送数 383名      回収数 201名      就業者数 96名</p> <p>4)未就業看護職の就業支援</p> <p>(1)看護基礎技術講習会</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数(回)</td> <td>85</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>参加者数/延人員(名)</td> <td>111 / 140</td> <td>63 / 63</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>採血・注射法・吸引・経管栄養・皮下注射・筋肉注射</td> <td>採血・注射法・吸引</td> </tr> <tr> <td>就業者数(名)</td> <td>58</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>就業率(%)</td> <td>52.3</td> <td>41.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)合同就職説明会 ・2/25 Web開催 求人施設 23施設、求職者 10名参加</p> <p>(3)訪問看護基礎研修会 ・半日コース 7/28 8/25⇒1日コースからWebへ変更 11/26 12/22      ・1日コース 10/20      ・参加者数 22名 就業者数 15名</p> <p>(4)看護職への求人情報の提供 6月 9月 12月 3月      (5)公共職業安定所と連携した相談ブースの設置 17回 相談者 25名</p> <p>(6)未就業看護師等再就業支援セミナー 中止</p> <p>(7)サテライト事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共職業安定所と連携した相談ブースの設置(再掲)</li> <li>・合同就職説明会(再掲)</li> <li>・再就業支援セミナー(再掲)</li> </ul> <p>(8)就業相談推進アドバイザーによる求人施設の情報収集</p> <p>(9)プラチナナース研修会 9/29 Web開催 参加者:28名(全員就業中) (2年度 参加者30名 うち就業中29名、未就業者1名) 参加者のアンケート結果:参加者の83.3% (2年度 68.0%) が定年退職後も就業を考えている</p> <p>(10)ナースセンター来所者、ハローワーク相談者への就業確認 ・郵送による調査 対象者 521名 就業者 94名</p>	eナースセンター利用者数	8,367名 (5,090名)	新規求人件数	2,467名 (1,949名)	新規求職者数	2,533名 (876名)	紹介者数(応募者数)	1,727名 延2,140名 (592名 延684名)	就業者数	891名 (351名)	年度	令和3年度	令和2年度	回数(回)	85	14	参加者数/延人員(名)	111 / 140	63 / 63	内容	採血・注射法・吸引・経管栄養・皮下注射・筋肉注射	採血・注射法・吸引	就業者数(名)	58	26	就業率(%)	52.3	41.3
eナースセンター利用者数	8,367名 (5,090名)																												
新規求人件数	2,467名 (1,949名)																												
新規求職者数	2,533名 (876名)																												
紹介者数(応募者数)	1,727名 延2,140名 (592名 延684名)																												
就業者数	891名 (351名)																												
年度	令和3年度	令和2年度																											
回数(回)	85	14																											
参加者数/延人員(名)	111 / 140	63 / 63																											
内容	採血・注射法・吸引・経管栄養・皮下注射・筋肉注射	採血・注射法・吸引																											
就業者数(名)	58	26																											
就業率(%)	52.3	41.3																											

<p>5)ナースセンター運営委員会の開催 年1回      6)ナースセンター事業の広報      7)関係機関との連携（日本看護協会、中央ナースセンター、公共職業安定所等）</p> <p>8)看護職への相談支援      9)看護進路相談事業(再掲)      10)ナースセンターの維持管理</p>	<p>5)ナースセンター運営委員会 2/10 Web開催      6)ナースセンター事業の広報 リーフレットの配布      7)関係機関との連携（日本看護協会、中央ナースセンター、公共職業安定所等）      (1)2021年度ナースセンター事業担当者会議（日本看護協会主催）      5/21      (2)就業準備金にかかる日本看護協会との契約に関するWeb説明会      6/30      (3)労働法に関する勉強会      7/21      (4)2021年度都道府県ナースセンター地区別意見交換会      9/2      (5)地域に必要な看護職確保推進事業報告会      3/23      8)看護職への相談支援      9)看護進路相談事業(再掲)      10)ナースセンターの維持管理</p>																		
<p>7.医療・看護における安全対策 重点事業1-6</p> <p>【目的】      医療関係者の医療安全対策に関する意識の向上と普及啓発を図り、医療安全管理者の育成とスキルアップの支援、関係機関との連携による医療安全対策ネットワークを構築する。また、県内の医療機関へ医療安全の周知を行うと共に医療事故調査制度の開始に伴った情報を提供していくことで、県民に安全・安心な質の高い医療・看護を提供する。</p> <p>1)医療・看護に関する相談支援、情報提供      ・医療事故調査に関する情報提供、支援者紹介      ・「世界患者安全の日」の啓発</p> <p>2)医療安全推進週間の推進      (1)医療安全大会の開催      ・開催日 令和3年11月21日（日）      ・場 所 幕張メッセ国際会議場</p> <p>(2)医療安全推進の普及啓発      ・医療安全に関する標語の募集      ・ポスター等による普及啓発</p>	<p>6.新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種人材確保業務      (日本看護協会委託事業)      事業実施期間：4/1～4/15</p> <p>1)潜在看護職等のワクチン接種業務への就業支援      ワクチン接種求人受付人数 373名      ワクチン接種就業者数 243名</p> <p>2)就業準備金支給申請に関する支給対象者への必要な支援      申請書交付数 1,582件</p> <p>7.医療・看護における安全対策</p>																		
<p>1)医療・看護に関する相談支援・情報提供      ・「世界患者安全の日」(WPSD) 9/17      千葉ポートタワーオレンジ色のライトアップ9/17～9/23      ホームページ等の啓発活動</p> <p>2)医療安全推進週間の推進      (1)医療安全大会      開 催 日：11/21      場 所：Web開催      参 加 者：193名(看護職161名 83.4%、他職種32名 16.6%)      (前年度151名)      テーマ：コロナ禍における多職種連携の視点で考える医療安全      内 容：特別講演      「患者安全の全体像と展望」      講師：名古屋大学医学部附属病院      患者安全推進部教授 長尾 能雅 氏      ・シンポジウム      「コロナ禍での医療安全の取組と連携の重要性」</p> <p>(2)医療安全推進の普及啓発      ・医療安全に関する標語の募集</p>	<table border="1" data-bbox="720 1843 1430 2039"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>応募者数(名)</td> <td>518</td> <td>1,327</td> </tr> <tr> <td>内訳</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>看護職(名)</td> <td>385</td> <td>882</td> </tr> <tr> <td>他職種(名)</td> <td>133</td> <td>445</td> </tr> <tr> <td>応募施設数(施設)</td> <td>35</td> <td>84</td> </tr> </tbody> </table>		令和3年度	令和2年度	応募者数(名)	518	1,327	内訳			看護職(名)	385	882	他職種(名)	133	445	応募施設数(施設)	35	84
	令和3年度	令和2年度																	
応募者数(名)	518	1,327																	
内訳																			
看護職(名)	385	882																	
他職種(名)	133	445																	
応募施設数(施設)	35	84																	

	<p>最優秀賞 「後でやる 忘れる前に 今やろう」      優秀賞 「手を止めて あせる気持ちに 一呼吸」      • ポスター等による普及啓発      発送 県内250病院、保健センター等141公的機関      その他会員施設223施設、他団体・企業等15施設</p> <p>3)医療安全管理者の育成      (1)医療安全管理者養成研修会(再掲)      (2)医療安全担当者中央交流会（年1回）      (3)医療安全担当者地区交流会      (2年目：市川・千葉・船橋地区 1年目：印旛・山武地区)</p> <p>4)関係機関等との連携促進      5)医療安全委員会の開催 年6回</p> <p>3)医療安全管理者の育成      (1)医療安全管理者養成研修会(再掲)      (2)医療安全担当者中央交流会 7/31 Web開催      参加者 35名 (令和2年度 参加者 45名)      (3)医療安全担当者地区交流会      新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全地区中止</p> <p>5)医療安全委員会 7/30 8/20 9/17 10/15 2/18 Web開催      令和3年度医療安全管理に関する調査実施</p>
--	--

### III 訪問看護の推進に関する事業

#### 【目的】

在宅医療の中核を担う訪問看護の質の向上を図り、安定的な供給を図る。

事業計画	実績
<p>1.訪問看護推進事業（千葉県委託）  <b>重点事業3-2</b></p> <p>【目的】      在宅療養を円滑に導入するため、訪問看護サービスの内容、利用方法、利用料など訪問看護に関して、県民や看護職等専門職からの相談に応じるとともに、関係職種が訪問看護に関する理解を深め、連携を強化し情報の共有化を図り、安心して在宅療養ができるように訪問看護を推進する。</p> <p>1)訪問看護推進協議会の開催（年2回）      2)訪問看護に関する総合相談の実施</p> <p>3)訪問看護の普及啓発事業      (1)地域連携フォーラムの開催      (2)パンフレットの配布</p> <p>4)訪問看護師指導者育成研修会（年2回）</p> <p>5)訪問看護再就職支援事業      (1)訪問看護ステーション見学体験事業</p>	<p>1.訪問看護推進事業（千葉県委託）</p> <p>1)訪問看護推進協議会 7/20、12/23      2)訪問看護に関する総合相談      【相談件数】34件      【相談者内訳】看護職41.2% 県民29.4% 福祉職20.6%、ケアマネジャー 8.8%      【相談内容内訳】訪問看護サービス詳細（訪問看護の導入、施設への訪問、訪問看護指示書、保険、算定等）79.4% 運営管理について5.9% 処置について5.9%、介護について2.9%、その他5.9%</p> <p>3)訪問看護の普及啓発事業      (1)地域連携フォーラム 12/4 Web開催      テーマ：切れ目のない看護の提供につながる連携～コロナ禍における地域連携～      内容：講義、グループディスカッション      参加者：49名（看護師42名、保健師4名、介護支援専門員3名）      (2)パンフレットの配布      【種類】訪問看護利用の手引き／マイナースとつくる安全で安心な在宅での生活      【方法】当協会ホームページに掲載（ダウンロード方式で配布）</p> <p>4)訪問看護師指導者育成研修会      1回目：9/25 Web開催 参加者 18名      2回目：10/9 Web開催 参加者 19名      内容：講義、グループディスカッション</p> <p>5)訪問看護再就職支援事業      (1)訪問看護ステーション見学体験事業（8月～2月）      参加者 6名      就業者 5名（うち訪問看護ステーション3名）</p>

<p>(2)訪問看護就職フェア（年1回）</p> <p>6)訪問看護病院経営者（看護管理者）講習会（年1回）</p> <p>2.訪問看護推進事業（協会単独事業）</p> <p><b>【目的】</b></p> <p>在宅医療の中核を担う訪問看護を安定的にかつ質の高い供給を行うために、訪問看護を提供する人材の育成及び訪問看護ステーションの業務の効率化等に向けた支援を行い、訪問看護師の定着を図る。</p> <p>1)訪問看護師人材育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)「新卒者等訪問看護師育成プログラム」に基づく人材育成支援事業 対象：新卒訪問看護師（1年目）、チャレンジ訪問看護師</li> <li>(2)「新卒者等訪問看護師育成プログラム」に基づく人材育成支援事業の普及</li> <li>(3)訪問看護師養成講習会の開催（再掲）</li> </ul> <p>3.関係機関との連携</p> <p><b>【目的】</b>訪問看護に関する事業を円滑に推進するために、関係機関との連携を強化し、情報収集等を行い課題解決への参考とする。</p> <p>1)日本看護協会、訪問看護事業協会等との連携</p> <p>2)医師会、千葉県訪問看護ステーション協会等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)千葉県看護協会と千葉県訪問看護ステーション協会との連携会議開催（年2回）</li> </ul>	<p>(2)訪問看護就職フェア 1/15 参加者：19名（未就業8名 就業中8名 教員2名 学生1名） 求人施設：訪問看護ステーション14施設 内容：講話・就業相談 就業者：3名（うち訪問看護ステーション2名）</p> <p>6)訪問看護病院経営者（看護管理者）講習会 2/19 Web開催 参加者：23施設 28名（自施設にて訪問看護を実施していないのは5施設） (2年度 12名参加) 内 容：テーマ「病院からの訪問看護を実現するためには」 講 演 事務部門・看護管理者・実践の立場から</p> <p>2.訪問看護推進事業（協会単独事業）</p> <p>1)訪問看護師人材育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)「新卒者等訪問看護師育成プログラム」に基づく人材育成支援事業 今年度の育成支援実施なし (平成24年度からの実績：新卒者13名、チャレンジ看護師21名)</li> <li>(2)「新卒者等訪問看護師育成プログラム」に基づく人材育成支援事業の普及 看護しば4月号に掲載</li> <li>(3)訪問看護師養成講習会（再掲）</li> </ul> <p>3.関係機関との連携</p> <p>2)医師会、千葉県訪問看護ステーション協会等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)千葉県看護協会と千葉県訪問看護ステーション協会との連携会議 7/10 2/5 Web開催</li> </ul>
---	--

#### IV 県民の健康・福祉の増進に関する事業

**【目的】**

看護を通して、県民の健康の保持増進に寄与するとともに、看護への理解を深める。

事業計画	実 績
<p>1.「看護の日」「看護週間」事業</p> <p><b>【目的】</b></p> <p>県民が集う「看護の日」として、県民が看護について関心と理解を深めるとともに、県民とともに歩む信頼される看護のイメージづくりを図り、健康で安心して暮らせる社会づくりの実現に寄与する。さらに、将来の看護職候補である若年層を主なターゲットとすることで、看護人材の確保を目指す。</p>	<p>1.「看護の日」「看護週間」事業</p>

<p>1) Nursing Now キャンペーンの継続      2)「看護の日・看護週間」事業      第1部 ・日 時 令和3年5月10日(月)～                        15日(土)のうち1日                ・内 容 ラッピングバスの運行による啓発、出前授業の実施        第2部 ・日 時 令和3年5月15日 (土)                ・会 場 12地区部会が決定した場所        3)看護の日実行委員会の開催 (2回)</p>	<p>2)「看護の日・看護週間」事業      【第1部】5/12          (1)ラッピングバス運行          (2)出前授業の実施 参加者 22名          (3)若年層・県民へ向けたPR (メディア取材、動画作成・HP掲載)      【第2部】各地区での行事～中止      【その他】「看護の日」トークイベント (日本看護協会) 5/9                        パブリックビューイング 参加者 14名      3)看護の日実行委員会 7/28 1/28</p>
<p>2.「まちの保健室」事業  <b>【目的】</b>      県民が気軽に自身や家族の健康について相談ができる場の確保を図るとともに、時代に応じた健康問題をとりあげ、予防の観点から健康教育を実施する。</p>	<p>2.「まちの保健室」事業      感染拡大防止のため、常設型、イベント型ともに開催なし</p>
<p>3.自殺予防対策</p> <p>1 自殺の原因第1位である「健康問題」を始め様々な悩みの原因について受け止め、ゲートキーパーの役割として、相談先の紹介等解決に向けた支援を行う「心の総合相談窓口」を継続する。      2 県内看護職が、自他ともに生かせるメンタルヘルス対策を習得し、看護の資質の向上を図る。      1)心の総合相談          (1)専用電話・専用メールによる相談対応            (2)自殺予防に関する広報          (3)相談員研修</p>	<p>3.自殺予防対策</p> <p>1)心の総合相談          (1)相談件数 95件 (電話24件、メール71件)                        緊急事態宣言等のため、電話相談受付期間は12/3～1/14の15日間とした                        相談者 79名 (県民63名、看護職13名)          (2)自殺予防に関する広報                        県内病院や訪問看護ステーション、公的機関、会員施設等へ配布                        会館・ナースセンター内設置</p> <p>2)人材育成研修の開催 (再掲)</p>
<p>2)人材育成研修の開催 (再掲)</p> <p>(1)「看護師のストレスマネジメント～アンガーマネジメントの視点を取り入れて～」(再掲)          (2)「ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)について学ぼう」(再掲)          (3)「職場適応を支えるメンタルヘルス～つ・発達障害の基本的知識とその対応～」(再掲)</p> <p>4.関係機関・他団体への協力</p> <p>1)小児救急電話相談事業への協力      2)千葉市認知症初期集中支援推進事業      3)研修会等への講師紹介や派遣      4)行事等への参加</p>	<p>4.関係機関・他団体への協力</p> <p>1)小児救急電話相談事業への協力                        勤務表作成                        相談員研修の開催 12/18 2/11                        千葉県小児救急電話相談事業運営協議会 2/22</p>

<p><b>5.災害支援対策事業</b>                   <b>重点事業4-2, 4-3</b></p> <p><b>【目的】</b></p> <p>災害時において、日本看護協会、各都道府県看護協会、千葉県、関係団体、地区部会と連携し、迅速に支援ナースの派遣等ができるよう、平常時より連携を強化し、支援体制を整備する。</p> <p>1)災害支援ネットワークの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)災害時における関係機関との連携           <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本看護協会及び都道府県看護協会</li> <li>・千葉県、関係団体等</li> </ul> </li> <li>(2)平常時における連携           <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内施設、日本看護協会等合同防災訓練</li> <li>・九都県市合同防災訓練、市町村等訓練への参加</li> </ul> </li> </ul> <p>2)災害に備えた支援体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)災害支援ナースの登録促進</li> <li>(2)災害支援ナースの登録・管理</li> <li>(3)災害救護対応マニュアル等の見直し</li> <li>(4)災害時の災害支援ナースの派遣調整</li> <li>(5)災害時必要物品の管理 年1回</li> </ul> <p>3)災害支援ナースの育成                   <b>重点事業4-3</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)「災害支援ナースの基礎知識」(再掲)</li> <li>(2)「災害医療と看護(実践編)」(再掲)</li> <li>(3)災害支援ナース更新・再登録要件講習会</li> </ul> <p>4)災害対策委員会の開催 年6回</p> <p><b>6.感染症対策事業</b>                   <b>重点事業4-1, 4-3</b></p> <p><b>【目的】</b></p> <p>新興感染症等の感染対策に関する最新の知識、技術を習得し、看護の対象者や自身及び職場の感染を防ぎ、安全な看護を実践できる看護職を育成する。</p> <p>1)関係機関との連携強化</p> <p>2)支援体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)(仮称) 感染症対策委員会の設置</li> <li>(2)人材育成</li> </ul>	<p><b>5.災害支援対策事業</b></p> <p>1)災害支援ネットワークの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)災害時における関係機関との連携           <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本看護協会及び都道府県看護協会</li> <li>・千葉県、関係団体等</li> </ul> </li> <li>(2)平常時における連携           <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内施設、日本看護協会との災害支援ナース派遣調整合同訓練11/9～11 災害対策本部会議7回(前年度6回)</li> <li>・九都県市合同防災訓練、市町村等訓練 縮小開催により不参加</li> </ul> </li> </ul> <p>都道府県看護協会災害看護担当者会議(日本看護協会主催) 12/16 Web会議</p> <p>2)災害に備えた支援体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(2)災害支援ナースの登録・管理 251名</li> </ul> <p>3)災害支援ナースの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)「災害支援ナースの基礎知識」(再掲)</li> <li>(2)「災害医療と看護(実践編)」(再掲)災害支援ナースの登録勧奨</li> <li>(3)災害支援ナース更新・再登録要件講習会 2/17 受講者60名(前年度44名)</li> </ul> <p>4)災害対策委員会 10/13 12/8 1/12 2/9</p> <p><b>6.感染症対策事業</b></p> <p>2)支援体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)(仮称) 感染症対策委員会の設置 なし</li> <li>(2)人材育成               <ul style="list-style-type: none"> <li>①新型コロナワクチン接種技術研修 24回 受講者総数 360名                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種人材確保業務(日本看護協会委託事業)ワクチン接種技術研修 22回受講者数 299名</li> <li>・千葉県警委託研修 1回 受講者 21名(看護職16名+薬剤師5名)</li> <li>・臨床検査技師への出張研修 1回 受講者 40名(臨床検査技師)</li> </ul> </li> <li>②感染症対策強化研修 10回 受講者総数 127名</li> <li>③訪問看護師対象感染症対策強化研修の実施 3回 受講者総数 35名</li> <li>(3)コロナ禍における「周産期にかかる看護職の情報交換会」 ～母子の命を救うために～ 12/11 Web開催 参加者 29名</li> <li>(4)新型コロナウイルス感染症対応看護職員等の人材確保事業                   <ul style="list-style-type: none"> <li>派遣先:沖縄県那覇市内宿泊療養施設</li> <li>派遣者:看護師</li> <li>派遣人数:2名</li> <li>派遣期間:①1/16～1/30 ②2/12～2/26</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
---	--

## V 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業

### 【目的】

看護を取り巻く課題を明確にし、看護職の専門性や看護の発展に寄与する。

事業計画	実績
1.職能委員会（職能） 1)保健師職能委員会 年6回程度	1.職能委員会（職能） 1)保健師職能委員会 8/18 10/11 12/10 メールによる意見交換実施
2)助産師職能委員会 年6回程度	2)助産師職能委員会 8/6 9/2 9/22 12/15 1/11 3/23
3)看護師職能委員会(領域 I ) 年6回程度	3)看護師職能委員会(領域 I ) 8 /18 9/27 10/15 11/16 1/21 2/28
4)看護師職能委員会(領域 II ) 年6回程度	4)看護師職能委員会(領域 II ) 8/6 9/16 10/7 11/9 12/8 2/2
2.職能集会・交流会(職能) 1)職能集会 ・開催日 令和3年6月23日(水) ・場 所 東京ベイ幕張ホール (1)保健師職能集会 1回 (2)助産師職能集会 1回 (3)看護師職能集会(領域 I ) 1回 (4)看護師職能集会(領域 II ) 1回	2.職能集会・交流会 (職能) 1)職能集会 ・開催日 6/23 Web開催  (1)保健師職能集会 参加者 38名 (2)助産師職能集会 参加者 14名 (3)看護師職能集会(領域 I ) 参加者 95名 (4)看護師職能集会(領域 II ) 参加者 19名
2)各職能別交流会 (1)保健師職能交流会 1回 (2)助産師職能交流会(管理者、中堅) 各1回  (3)看護師職能交流会(領域 I ) 1回 (4)看護師職能交流会(領域 II ) 1回 (5)准看護師交流会 1回	2)各職能別交流会 (1)保健師職能交流会 2/12 (中止) (2)助産師職能交流会(管理者、中堅) 11/24 参加者 8名 2/21 参加者 14名 (3)看護師職能交流会(領域 I ) 11/16 参加者 122名 (4)看護師職能交流会(領域 II ) 11/18 参加者 50名 (5)准看護師交流会 Web開催 9/27 参加者 23名
3.県行政等への要望・意見具申(看護制度) 1)県の令和4年度予算等に関する要望書の提出 2)県議会等の活動への協力依頼等	3.県行政等への要望・意見具申(看護制度) 1)県の令和4年度予算等に関する要望書の提出 9/9 会員要望数：88件 (30名) ナースセンター施設設備に係る要望書の提出 9/9 看護系学校に係る報道内容への対応について 3/3
3)千葉県医療審議会等への参画	3)千葉県医療審議会等への参画 千葉県・市町村等関係会議：125回 関係団体等会議：60回
4.看護関連施策に対する提言(看護制度) 1)国・日本看護協会等の要望・提言 2)資格認定制度の推進 (1)専門看護師、認定看護師等の資格取得の促進 重点事業2-3 (2)特定行為に係る看護師の研修制度の普及・ 資格取得の推進 重点事業2-4	4.看護関連施策に対する提言(看護制度) 1)国・日本看護協会等の要望・提言 2)資格認定制度の推進 (1)専門看護師、認定看護師等の資格取得の促進  (2)特定行為に係る看護師の研修制度の普及・資格取得の推進

## VI 指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業

### 【目的】

在宅療養者に質の高い訪問看護及び居宅介護支援を提供するとともに、訪問看護の普及啓発等を通して在宅療養者の環境づくりに寄与する。

事業計画	実績																																								
1.訪問看護事業																																									
1)質の高い訪問看護の提供	<p>1.訪問看護事業 (訪問看護師常勤換算 3/31現在6.4名、昨年同時期7.0名)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>令和3年度</th><th>令和2年度</th><th>増減</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1)質の高い訪問看護の提供</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>利用者数延(名)</td><td>949</td><td>915</td><td>34</td></tr> <tr> <td>内訳</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>  介護保険利用者</td><td>597</td><td>557</td><td>40</td></tr> <tr> <td>  医療保険利用者</td><td>352</td><td>358</td><td>△6</td></tr> <tr> <td>訪問回数(回)</td><td>5,632</td><td>5,411</td><td>221</td></tr> <tr> <td>内訳</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>  介護保険利用者</td><td>2,985</td><td>2,793</td><td>192</td></tr> <tr> <td>  医療保険利用者</td><td>2,647</td><td>2,618</td><td>29</td></tr> </tbody> </table>		令和3年度	令和2年度	増減	1)質の高い訪問看護の提供				利用者数延(名)	949	915	34	内訳				介護保険利用者	597	557	40	医療保険利用者	352	358	△6	訪問回数(回)	5,632	5,411	221	内訳				介護保険利用者	2,985	2,793	192	医療保険利用者	2,647	2,618	29
	令和3年度	令和2年度	増減																																						
1)質の高い訪問看護の提供																																									
利用者数延(名)	949	915	34																																						
内訳																																									
介護保険利用者	597	557	40																																						
医療保険利用者	352	358	△6																																						
訪問回数(回)	5,632	5,411	221																																						
内訳																																									
介護保険利用者	2,985	2,793	192																																						
医療保険利用者	2,647	2,618	29																																						
2)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援	<p>2)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>在宅での看取り(名)</td><td>17</td><td>24</td><td>△7</td></tr> <tr> <td>人工呼吸器装着患者(名)</td><td>4</td><td>4</td><td>0</td></tr> <tr> <td>小児(名)</td><td>4</td><td>3</td><td>1</td></tr> </tbody> </table>	在宅での看取り(名)	17	24	△7	人工呼吸器装着患者(名)	4	4	0	小児(名)	4	3	1																												
在宅での看取り(名)	17	24	△7																																						
人工呼吸器装着患者(名)	4	4	0																																						
小児(名)	4	3	1																																						
3)24時間、緊急時の訪問看護の提供	<p>3)24時間、緊急時の訪問看護の提供</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>緊急訪問延(回)</td><td>261</td><td>221</td><td>40</td></tr> <tr> <td>休日緊急訪問延(回)</td><td>93</td><td>66</td><td>27</td></tr> </tbody> </table> <p>*8月・9月、新型コロナウィルス感染症患者6事例、37回訪問(全て緊急訪問)</p>	緊急訪問延(回)	261	221	40	休日緊急訪問延(回)	93	66	27																																
緊急訪問延(回)	261	221	40																																						
休日緊急訪問延(回)	93	66	27																																						
2.居宅介護支援事業	<p>2.居宅介護支援事業 (ケアマネージャー常勤換算 3/31現在1.0名、昨年同時期と同じ)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>令和3年度</th><th>令和2年度</th><th>増減</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1)ケアプランの提供</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>ケアプラン作成(件)</td><td>289</td><td>201</td><td>88</td></tr> <tr> <td>2)地域のネットワークづくり(居宅サービス事業者との連携)</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>担当者会議(回)</td><td>39</td><td>21</td><td>18</td></tr> <tr> <td>3)利用者支援(介護認定支援業務)</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>利用者の申請代行(件)</td><td>39</td><td>44</td><td>△5</td></tr> </tbody> </table>		令和3年度	令和2年度	増減	1)ケアプランの提供				ケアプラン作成(件)	289	201	88	2)地域のネットワークづくり(居宅サービス事業者との連携)				担当者会議(回)	39	21	18	3)利用者支援(介護認定支援業務)				利用者の申請代行(件)	39	44	△5												
	令和3年度	令和2年度	増減																																						
1)ケアプランの提供																																									
ケアプラン作成(件)	289	201	88																																						
2)地域のネットワークづくり(居宅サービス事業者との連携)																																									
担当者会議(回)	39	21	18																																						
3)利用者支援(介護認定支援業務)																																									
利用者の申請代行(件)	39	44	△5																																						
3.訪問看護の普及	<p>3.訪問看護の普及</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1)訪問看護研修生の受入れ</li> <li>2)看護学生実習の受入れ</li> </ul>																																								
4.地域ニーズに応じた運営体制の整備	<p>4.地域ニーズに応じた運営体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援</li> <li>2)ちば訪問看護ステーション定例会議 月1回</li> <li>3)ちば訪問看護ステーション運営会議 年2回程度</li> </ul>																																								
5.医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携	<p>5.医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1)医療機関、介護支援専門員等との連携           <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)地域連携の会・交流会、ケア担当者会議への参加</li> <li>2)利用者確保のための広報活動</li> </ul> </li> </ul>																																								
6.職員の資質の向上	<p>6.職員の資質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1)事例検討ミーティング 4/20 5/18 6/15 7/20 9/14 10/12 12/14 2/15</li> </ul>																																								

<p>2)研修会・学会等への参加</p> <p>3)地域の行事・交流会、連絡会等への参加</p> <p>4)訪問看護師クリニカルラダーの検討</p> <p>7.ちば訪問看護ステーション未来づくり計画の推進</p> <p>1)看護協会立の訪問看護ステーションとしての公益的・先駆的な取組み</p> <p>2)職員が働きやすく、魅力ある職場づくり</p> <p>3)経営の安定化</p> <p>4)看護協会ちば訪問看護ステーション運営評価委員会の開催 1回</p>	<p>2)研修会・学会等への参加</p> <p>訪問看護師対象感染対策強化研修 10名 千葉県感染症リーダー研修 1名 千葉県看護協会生涯学習計画研修 6名</p> <p>3)地域の行事・交流会、連絡会等への参加 6/21</p> <p>4)訪問看護師クリニカルラダーの検討 担当グループによる定期的な検討と案を作成</p> <p>7.ちば訪問看護ステーション未来づくり計画の推進</p> <p>1)看護協会立の訪問看護ステーションとしての公益的・先駆的な取組み</p> <p>2)職員が働きやすく、魅力ある職場づくり 5グループにより職場の改善に向けて活動 感染対策マニュアル、訪問看護師クリニカルラダーの作成</p> <p>3)経営の安定化 看護師1人1日当たり訪問回数3.4件（目標訪問回数を達成）</p> <p>4)看護協会ちば訪問看護ステーション運営評価委員会 3/16</p>
--	--

## VII その他この法人が目的を達成するために必要な事業

### 【目的】

1. 県民の健康な生活の実現に貢献するために、地域の特性を考慮した看護の提供及び保健知識の普及を行う。
2. 情報提供及び広報を行う。
3. 当協会会員に対する相互扶助等の（福利厚生）事業を行う。
4. 県民の健康な生活の実現に貢献するために、公益社団法人としての組織運営を円滑・適正に行う。

事業計画	実績
<p><b>【公益目的事業】</b></p> <p>1.地区部会活動事業</p> <p><b>【目的】</b></p> <p>地域において、看護職の資質の向上を図るとともに、医療の担い手として誇りをもち、安心して働き続けられる環境づくりと地域のニーズに応える保健・医療・福祉活動を推進することにより、看護を通じて県民の健康な生活の実現に貢献することを目的とする。</p> <p>1)具体的な地区部会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)役員会 年5回程度</li> <li>(2)連絡会 年2回程度</li> <li>(3)研修会 年3回</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>(4)まちの保健室の開催（再掲）</li> <li>(5)「看護の日」「看護週間」事業（再掲）</li> <li>(6)その他、地区特有の事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>①合同就職説明会の開催（再掲）</li> <li>②医療安全担当者地区交流会の開催（再掲）</li> </ul> </li> </ul> <p>2)地区部会長会の開催 年2回</p> <p>2.情報提供、広報事業</p> <p>1)千葉県看護協会の広報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)機関誌「看護ちば」の発行 年5回（定期4、号外1）</li> </ul>	<p>1.地区部会活動事業</p> <p>1)具体的な地区部会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)役員会 各地区 2～7回</li> <li>(2)連絡会 各地区 1～2回</li> <li>(3)研修会 各1回（印旛、長夷） 対面に代わる実施方法の検討</li> </ul> <p>(6)その他、地区特有の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①合同就職説明会（再掲）開催なし</li> </ul> <p>2)地区部会長会 7/28 1/28 Web開催</p> <p>2.情報提供、広報事業</p> <p>1)千葉県看護協会の広報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)機関誌「看護ちば」の発行 <ul style="list-style-type: none"> <li>①発行 年5回（4月号、総会特集号、7月号、10月号、1月号）</li> <li>②アンケート調査 期 間：10/5～10/25 回答方法：インターネット（ホームページからアクセス）にて回答 回 収 数：1,356人（回収率4.8%）</li> </ul> </li> </ul>

<p>(2)ホームページの充実 (3)協会パンフレット等の活用</p> <p>2)広報委員会の開催 年6回</p>	<p><b>調査結果：看護ちらばについて</b> 毎号読んでいる35.7%、時々読んでいる41.3%、 読んでいない23.0% <b>興味がある記事（複数回答）</b> 特集31.6%、医療安全シリーズ20.9%、フィジカルアセスメント19.0% <b>発行方法</b> 現在と同じ77.4%、電子化してほしい20.4%、 その他2.2%</p> <p>(2)ホームページの充実 (3)協会パンフレット等の活用 (4)広報検討会議 4/28 5/26 6/30 7/28 8/25 9/29 2)広報委員会 8/18 9/16 10/21 11/18 1/20 2/17</p>
<p><b>【収益目的事業】</b></p> <p>1.販売手数料及び出展広告に関する事業</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)看護関連図書の紹介</li> <li>2)総会・医療安全大会等 出展広告掲載業者の募集</li> <li>3)会員管理受託業務及び代議員選出受託業務（日本看護協会）</li> </ol> <p>2.会員サービス・福祉の充実等</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)会員への相談支援、情報提供</li> <li>2)看護職の表彰</li> </ol> <p>3)慶弔見舞金等の給付</p> <p>4)災害時の支援(再掲)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①災害</li> <li>②感染症</li> </ol> <p>5)会員福利厚生サービスの実施・広報</p>	<p><b>【収益目的事業】</b></p> <p>1. 販売手数料及び出展広告に関する事業</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)看護関連図書の紹介</li> <li>2)広告掲載業者の募集</li> <li>3)会員管理受託業務及び代議員選出受託業務（日本看護協会）</li> </ol> <p>2.会員サービス・福祉の充実等</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)会員への相談支援、情報提供</li> <li>2)看護職の表彰 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)春の叙勲（瑞宝双光章2名）、秋の叙勲（瑞宝单光章1名）</li> <li>(2)千葉県看護協会会長表彰 281名</li> </ul> </li> <li>3)慶弔見舞金等の給付 弔慰金 10件</li> <li>4)災害時の支援(再掲) <ul style="list-style-type: none"> <li>①災害</li> <li>②感染症</li> </ul> </li> </ol> <p>支援物資配布：延べ498施設 クールベスト1,960着（400着）、防護服2,750枚（250枚）、サーナカルマスク18,750枚（750枚）、N95マスク8,400枚（400枚）、パルスオキシメーター150個（50個）、非接触体温計155個（40個）、消毒用アルコール400個（300個）、ニトリルグローブSM52,000枚（12,000枚） ※（ ）は日本看護協会からの支援 経口補水液 1,929本（業者直送） 防護具等・パルスオキシメーター・タブレット端末他（抽選） 5)会員福利厚生サービスの実施・広報</p>
<p><b>【法人】</b></p> <p>1.組織運営に関する会議等の開催</p> <p>1)定時総会 年1回 ・開催日 令和3年6月23日(水) ・場 所 東京ベイ幕張ホール</p> <p>2)理事会 年6回程度</p> <p>3)監事監査 年2回（5月、11月）</p> <p>4)施設等会員代表者会 年2回</p> <p>5)地区部会長会（再掲） 年2回（7月、1月）</p> <p>6)保助看職能委員会（再掲） 年6回程度</p> <p>7)推薦委員会 年6回程度</p>	<p><b>【法人】</b></p> <p>1.組織運営に関する会議等の開催</p> <p>1)定時総会 6/23 Web開催 出席者 37名 視聴者 68名 書面議決権行使：43名 委任状：18,074名</p> <p>審議事項</p> <p>第1号議案 令和2年度事業報告及び決算報告並びに監査報告について 第2号議案 令和3年度改選役員及び推薦委員の選任について 第3号議案 会員以外の者からの監事の選任について 第4号議案 2022年度公益社団法人日本看護協会通常総会 代議員・予備代議員の選出について</p> <p>2)理事会 4/16 5/20 6/23 7/16 10/14 12/9 2/17 3)監事監査 5/10 11/12 4)施設等会員代表者会 7/16 1/25 5)地区部会長会（再掲） 6)保助看職能委員会（再掲） 7)推薦委員会 9/22 10/28 11/25 1/27 2/18 3/17</p>

<p>8)常任委員会（再掲） 教育委員会 労働環境改善委員会 医療安全委員会 広報委員会 会員増促進委員会 看護研究委員会 災害対策委員会</p> <p>9)特別委員会 ナースセンター運営委員会（再掲） 認定看護管理制度教育課程運営委員会 看護職定着・確保対策協議会</p> <p>10)千葉県看護連盟との連携 合同研修会</p>	<p>年6回程度</p> <p>8)常任委員会（再掲） 教育委員会 労働環境改善委員会 医療安全委員会 広報委員会 会員増促進委員会 看護研究委員会 災害対策委員会</p> <p>9)特別委員会（再掲） ナースセンター運営委員会 認定看護管理制度教育課程運営委員会 看護職定着・確保対策協議会</p> <p>10)千葉県看護連盟との連携 合同研修会 1/17 Web開催</p>
<p>2.会員増の促進</p> <p>1)新規・再入会の促進</p>	<p>2.会員増の促進</p> <p>1)新規・再入会の促進 28,794名（うち新規入会者数 2,297名） (1)入会促進啓発物配布（他通知同梱発送による）     入会促進ツール（日本看護協会）302施設     入会案内 訪問看護ステーション454施設     支援物品配付施設 196施設</p>
<p>2)継続会員への勧奨</p> <p>3)千葉県内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内 (1)看護学生の表彰</p> <p>(2)千葉県内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内 (3)協会の機能と役割に係る特別講話</p>	<p>2)継続会員への勧奨 (1)入会後の案内「入会されたあなたへ～information～」等の送付 2,297名</p> <p>3)千葉県内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内 (1)看護学生の表彰     対象：36校、36名 (2)千葉県内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内     対象：令和3年度卒業生42校、2,588名 (3)協会の機能と役割に係る特別講話     対象：14校</p>
<p>4)会員増促進委員会の開催（年6回）</p>	<p>4)会員増促進委員会 8/31 10/13 12/1 1/19 2/16 3月書面開催</p>
<p>3.公益社団法人に係る届出事務（千葉県知事等） 1)令和4年度事業計画・収支予算等の提出（3月） 2)令和2年度定期報告（事業報告・決算報告等）(6月) 3)役員等の変更登記及び届出</p>	<p>3.公益社団法人に係る届出事務（千葉県知事等） 1)令和4年度事業計画・収支予算等の提出（3月） 2)令和2年度定期報告（事業報告・決算報告等） 6/25 3)役員等の変更登記及び届出 8/30</p>
<p>4.日本看護協会との連携</p> <p>1)法人会員会・理事会</p> <p>2)地区別法人会員会</p> <p>3)職能委員長会</p> <p>4)日本看護協会通常総会代議員選出</p>	<p>4.日本看護協会との連携</p> <p>1)法人会員会・理事会     法人会員会 5/7 7/30 9/17 11/26 2/25 Web開催     理事会 5/7 6/9 7/29 30 9/17 11/25・26 2/24・25 Web開催     日本看護協会通常総会 6/9 書面議決権行使 代議員28名     全国職能交流集会 6/10</p> <p>2)地区別法人会員会 10/7・8 Web開催     地区別職能委員長会 10/8 Web開催</p> <p>3)職能委員長会 Web開催     保健師職能委員長会 7/5 3/3     助産師職能委員長会 7/7 3/3     看護師職能委員長会 I 7/9 3/3     看護師職能委員長会 II 7/7 3/3</p> <p>4)日本看護協会通常総会代議員選出     2021年度日本看護協会通常総会代議員等研修会 5/13 Web開催         参加者 49名（代議員25名 予備代議員24名）     2022年度日本看護協会通常総会代議員選出 6/23         （代議員28名 予備代議員30名）</p>
<p>5.行政等との連携</p> <p>1)千葉県及び市町村主催の会議等への参画 2)三師会、日本助産師会及び関係団体との連携 3)関係団体の行事等への協賛・後援</p>	<p>5.行政等との連携</p> <p>1)千葉県及び市町村主催の会議等への参画 2)三師会、日本助産師会及び関係団体との連携 3)関係団体の行事等への協賛・後援 後援14件</p>

<p>6.役員・職員の資質の向上と福利厚生</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)研修の実施             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)担当業務に係る外部研修等の受講</li> </ol> </li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>(2)集合研修の実施</li> <li>2)健康診断およびインフルエンザ予防接種</li> <li>3)有給休暇の取得促進</li> </ol> <p>7.協会資産の管理</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)看護会館等の管理             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)看護会館の管理                     <ol style="list-style-type: none"> <li>①保全等</li> <li>②環境整備</li> </ol> </li> <li>(2)協会物品の管理                     <ol style="list-style-type: none"> <li>①固定資産台帳の管理</li> <li>②物品台帳の管理</li> </ol> </li> <li>(3)公用車の管理</li> </ol> </li> <li>2)情報資産の管理・活用             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)情報資産の管理                     <ol style="list-style-type: none"> <li>①情報セキュリティの確保</li> <li>②個人情報関連業務の標準化</li> </ol> </li> <li>(2)情報資産の活用                     <ol style="list-style-type: none"> <li>①グループウェア、ファイルサーバー等による情報共有</li> <li>②新研修管理システム(manaable)の管理・運用(4/7運用開始)</li> <li>③会員管理システムの管理・運用</li> </ol> </li> </ol> </li> </ol> <p>施設向けWebシステム「施設専用サイト」に関するアンケート調査の実施</p> <p>回収数：265施設（回収率46.2%）</p> <p>調査結果：利用状況</p> <p>利用している66.0%、知っているが現在は利用していない27.2%、「施設専用サイト」を知らない6.8%</p> <p>よく利用する機能（複数回答）</p> <p>会費納入状況の確認76.4%、会員一覧の確認74.4%</p>	<p>6.役員・職員の資質の向上と福利厚生</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)研修の実施             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)担当業務に係る外部研修等の受講                     <p>感染症対策強化研修 5/19 2名 6/8 1名 8/28 4名 職業紹介責任者講習 5/24 4名 10/25 1名 第7回日本医療安全学会学術総会 6/4 1名 心不全訪問看護セミナー 6/30 1名 都道府県ナースセンター相談員向けキャリアコンサルティング研修 7/13 1名 7/27 2名 11/8 1名 その人らしく生きることを支えるスピリチュアルケア 8/26 1名 在宅・介護施設における看取り 1/17 1名 地域における看取りを考える 1/17 1名 認知症初期集中支援チーム員研修 1/22 1名 がん医療の最新知識と患者・家族の療養支援 1/24～26 1名 認知症初期集中支援チームフォローアップ研修 1/28 1名 日本看護サミット2021 2/4 8名 勤務間インターバル制度導入促進シンポジウム 2/18 6名 患者を守り自分を守る看護倫理の基礎 2/21 1名 タイムマネジメント～ライフもワークも生き生きと～ 2/25 1名 認知疾患医療センター研修 2/26 1名 認知症地域支援推進員研修会 3/16 1名 令和3年度日本訪問看護財団研修 診療報酬改定セミナー 3/19 1名</p> </li> </ol> </li> <li>(2)集合研修の実施</li> <li>2)健康診断およびインフルエンザ予防接種</li> <li>3)有給休暇の取得促進</li> </ol> <p>7.協会資産の管理</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)看護会館等の管理             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)看護会館の管理                     <ol style="list-style-type: none"> <li>①保全等</li> <li>②環境整備</li> </ol> </li> <li>(2)協会物品の管理                     <ol style="list-style-type: none"> <li>①固定資産台帳の管理</li> <li>②物品台帳の管理</li> </ol> </li> <li>(3)公用車の管理</li> </ol> </li> <li>2)情報資産の管理・活用             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)情報資産の管理                     <ol style="list-style-type: none"> <li>①情報セキュリティの確保</li> <li>②個人情報関連業務の標準化</li> </ol> </li> <li>(2)情報資産の活用                     <ol style="list-style-type: none"> <li>①グループウェア、ファイルサーバー等による情報共有</li> <li>②新研修管理システム(manaable)の管理・運用(4/7運用開始)</li> <li>③会員管理システムの管理・運用</li> </ol> </li> </ol> </li> </ol> <p>施設向けWebシステム「施設専用サイト」に関するアンケート調査の実施</p> <p>回収数：265施設（回収率46.2%）</p> <p>調査結果：利用状況</p> <p>利用している66.0%、知っているが現在は利用していない27.2%、「施設専用サイト」を知らない6.8%</p> <p>よく利用する機能（複数回答）</p> <p>会費納入状況の確認76.4%、会員一覧の確認74.4%</p>
--	---